~ 信濃川下流大規模水害に関する減災目標を 達成するための各機関の取組一覧 ~

## ※上段: 歌組方針策定時の実施内容と時期<u>(今後の椿客により変更となる場合があります。)</u> 下段: 令和元年10月31日時点の歌組状況(うち、青字は令和元年11月1日以降の歌組内容【令和2年3月31日時点】)

(様式1一取約	且一覧) 取	組状況確認様式	ŧ		※上段 ※「課題	取組方針策定時の実 の対応(A~Z)」は減	実施内容と時期 <u>(今)</u> 裁災対策についての	後の精査により変更となる場合がま 現状の課題であり、各取組がどの	<u>ります。)</u> 下段 <sup>実題(詳細は「信濃)</sup>	ま: 令和元年10月31日時点の即 川下流域の減災に係る取組方	数組状況(うち、1 針」参照)に対応	青字は令和元年11月1日以降の なしたものかを指す。	取組内容【令和2年3月	31日時点])											資料!	5①
1万 東	課題	(概ね5年間)	北陸地整		新潟県		地方気象台	新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市	五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
項 項 カテゴリ 1. ハード対策の主な ■洪水を河川内	対応	時期 770	実施内容	時期	実施内容 時期	実施内	内容	時期 実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容 時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■洪水を河川内 ・河道規削 ・浸食対策 ・築堤		デ対策 洪水を安全。 規決ではかれたがれる。 経費機 機円・ド対策の 推進	÷	・引き続・中ノロ川(河) き整備 ・下条川(築堤・・下条川(築堤・・下条川(築堤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	流すためのハード対策   引き続 五十嵐川、中ノロ川、加 整備 等 道掘削、築堤)(新潟)の ・引き懸 き整備 担削)(三条)の工事実施。 掘削)(三条)の工事実施。	ŧ																				
②本川と支 流部等の (到) (戸加地区)[R2	対策 横場新 W.X 追加】	信濃川本」 及び支川合 及び支川合 変な水は位を 減して洗水さ 安全に通掘 の推進	信濃川本川及び支川合流点の水体 を低減して洗水を安全に流すため、 遠端網を推進 (2018年緊急点検) ・ 戸石地区(R1~) ・ 横場新田地区(R2~)	度まで   2020年   度まで																						
③本川と支 流部等の (中ノロ川・ 川・下条川) 加]	対策 加茂	順次実施		推進する。(中	器区間でのハード対策を 順次実 パロ川、下条川)																					
④信濃川下ウルの分配を使いています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	台水安 スを考 大堰・ Y 門の施	順次 施設操作連 実施 の検討、調ぎ	・蒲原大堰・中ノロ川水門の施設操・選用の検討、調整 ・ 選用の検討、調整 ・ 連原大堰・中ノロ川水門の施設操・ 選用の検討(H28~)		ノロ川水門の施設操作 順次実 瀬整 ・引き報 き検討																					
(ウェリル) [F	屋や重保全対 W.X	信濃川と支流点付金 会流点付金 の光整の危険 が特において 土砂の維持 削及び樹木 採の推進	・ 元潔による危険性が特に高い区間 おいて 様本 土 た地 第二 地面 川 人名の危険性を解消するため、様本 の (位保、河道膃門の実施性 住 (2018家急点検) 医 単 ・ 一 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	2020年 - 水位低下を は 度まで 防整備を推進 2020年 度まで	国るための河道復南と堤 別き様 する。(中ノロ川)	*																				
	R2追 W,X	病院、市役イ 等のに立い雨等のについ雨等のについ雨等のについ雨等を防止を可い雨等を防止を可対を を防止を可対を を防かの対応 等実施	す	が 度まで る著しい被害が いて、樹木伐	ことので、法水氾濫によ、順次実 が生する等の両川につ 施 選・振削等の緊急対策を																					
■流出抑制対策  ①ダムの嵩、遊水地の整		引き 遊水地の整 続き 備、ダムの 整備 上げ		<ul> <li>・五十嵐川遊・笠堀ダムの割</li> <li>・五十嵐川遊ムの嵩上げ工</li> </ul>	当上げ 整備 水地の整備及び笠堀ダ ・完了										か  -	既存消雪井戸を活用した浸 軽減策。 (H29.3]浸水想定区域付近 雨水地下注入浸透事業実 5、設置完了。	完了予 定 •H28年									
■内水対策  ①排水機能	の配 _	排水ポンプル原次の整備等の	・排水ポンプ車の更新・増強	順次整 ・布施谷川・新 増 対策(ハード・) (H29~ ・新通川・島田 日32年 度まで)	川様水路下流館の内水 引き様 プト) 整備 川の河道拡幅	ė		・雨水排水ポンプ場の引 (白根水道町、山田)	を備 原文整 備			・布施谷川・新川接水路下流 部の内水対策(ハード・ソフト) ・新温川・島田川沿線排水区域内水対策事業 ・裏館第1雨水幹線排水区域内水対策事業(公共下水含む)	備(H29 ンブ場の) ・22年 皮まで)・順次整 (備(H31 年度) ・順次整 (情(H29 年度) ・順次整 (情(H29 年度)	)整備 凸線排水区域内水対	備			須頃郷1号排水路整備事業 順次整 債(H29 年度完 了予定)								
i iii		整備排水ボンブリの整備	<ul> <li>・排水ボンブ車や開明車等の災害労 策重等、機器について、平常時から 期的な保守占核を行い、災害発生師 の出勤を制を確保。</li> <li>・排水ボンブ車、照明車の増強(R29 施予定)</li> </ul>	?   き実施   ト)について検 ・新通川・島田 施中。	機し対策(ハード・ソフ・引き数 計画に対策(ハード・ソフ・ き実施 川(河連拡幅)の工事実	E		・雨水排水ポンプ場の引 (山田)。	· 引き続 ・引き続 ・引きを備水 (白町は 田町は 田別開始)			- 布施谷川・新川排水路下流 部の内水対策(ハード・ソフ ト)。 ・新通川・島田川沿線排水区域内水対策事業 - 東館第1雨水幹線排水区域内水対策事業(公共下水合 む)	• 雨水排; • 順次整 (備(R5年度完了) • 次年度 (株) (株) (株) (株) (株)	及び雨水排水ポンプ 黒水) 水ポンプの新設(干 以降、追加の整備を 水ポンプ場の遠隔監 ムの整備 台線排水区域内水対	実施 ・R元年 度完了 ・引き続 ・整備 ・整備			・H29度来了に向け、引き続き・順次整 事業実施予定。 ・H29年度未見了、H30年度 「予定) に繰り起し、完了に向け引き・順次整 機と事業実施。 ・H30年度整備完了。・H30年度 使完了								
		調整池等の備	<b>整</b>					・調整池等の整備 ・地下貯留施設(雨水) 管)による浸水対策 ・調整池等の整備。 ・地下貯留施設(雨水)		・調整池等の整備 ・開発許可申請者と適正な 議を実施。	備	<ul><li>調整池等の整備</li><li>調整池等の整備。</li></ul>	H28年 度完了 予定 ・R元年 度完了 ・R元年	等の整備の検討検討	計	調整池等の整備整備医所を検討中。	備	調整池等の整備 順次整 備 ・ H28年 度完了		・既存 持の ・既存	を池等の整備 字の調整池等の機能維 ため、適正な管理を実 字の調整池等の機能維 ため、適正な管理を実	施施・引き続・整備の		順次整備		
② ・調整池の名 ・田んぼダム 用	を備 T	順次整備		・地域の自発的流出抑制の「E	内な共同活動として行う 順次整 田んぼダム」の取組につ 備 「村と連携し支援を行っ			管)による浸水対策。 ・田んぼダムの活用	順次整備			・田んぽダムの活用(市内 1,159ヘクタールで実施)	実施中・田んぼ	ダムの活用の検討	順次検・対	田んぼダムの活用	順次整備	田んぽダムの活用 順次整備		R01.4	4清掃実施 んぽダムの活用の実施		ぽダムの活用	順次整備		
		田んぽダム 整備・活用	o	・国、市町村と 普及啓発に取	連携し、田んぼダムの・引き8 り組んでいる。 き実施	ŧ		・田んぽダムの活用。	実施中			・田んぽダムの活用(市内 1,159ヘクタールで実施)	実施中・引き続き	接前。	・引き続・ き検討 認	排水調整管の適正設置を確 。	・引き続 き実施	・日んぽダムの活用。 ・引き続き実施		·田/ 計。	いぼダムの活用の実施	i検・引き続・田んに き検討	ぎダムの活用。	・引き続 き実施		

(株式1一栽植一見)						※「課題の対				(詳細は「信濃」	川下流域の減災に係る取組方針	参照)に対応し	たものかを指す。															\$5(I)
減災のための取組項			北陸地整	_	新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市	_	五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
項事 カテゴリ 野	課題 の 時期 内容	3	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■危機管理型ハード対策		•堤防天	端の保護(アスファルト舗装	H28年	- 堤防天端の保護	H28年度 以降検														Ì								
		等)		度から順次整		以降検 討																						4
		·加茂新	田地区(H28年度完)	引き続	・要対策箇所について検討中(H28~ (河川整備課)。	)・引き続												-	-			-						
		<ul><li>石上地</li><li>大川津</li></ul>	田地区(H28年度完) 区(H28年度完) 地区(H28年度完)		・五部一川において堤防天端舗装を	調整を																						4
	堤防天蝉 護	術の保			実施(五泉市青橋地区)(H29完了) (新津)	実施																						4
	H28				・地域活性化推進事業において、刈名 田川で堤防天端舗装(利用目的)を実施(長岡)。	き続き実																						4
・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補	年度 Z から 順次				・地域活性化推進事業において、五十嵐川で堤防天端舗装(利用目的)を実	1 施																						4
強	整備				施(H31完了)(三条)																							4
		•堤防裏	法尻補強	H28年 度から 順次整																								
				順次整備																								4
	堤防裏法 補強	・小須戸:	地区(H28年度完)	引き続き実施														-										
				き実施																								4
■避難路・避難場所の安	子全対策の強化【R2道	<b>≜加】</b>																<u> </u>										
					・土砂流出防止のためのハード対策を 推進する。	を 引き続き 実施																						
① ①砂防堰堤等の	H30 年度 から					900																						4
①砂防堰堤等の 整備【R2追加】	順次整備																	1				1						
																												4
■土砂・洪水氾濫への対	策				・既設砂防堰堤の改築	引き続き								1 1														
	H30 年度					実施																						4
② ①砂防堰堤等の 整備【R2追加】	から順次整備																											
	32 M																											4
■避難行動、水防活動、抗	排水活動に資する基	<ul><li>水防団</li></ul>	と自治体との水防資機材の硝	自引き続	 ・水防資機材の配備状況の確認・整備	前 引き続き		-河	管理者や水防団と連	携 H28年	・水防資機材の配備状況の	引き続  ・7	水防資材の十分な確保	引き続・	自治会に対する水防資機材	引き続	<ul><li>河川管理者と連携を図り必</li></ul>	H28年	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年	<ul><li>河川管理者と連携を図り、</li></ul>	H28年						
		認を実施		き実施		実施		L水	防資機材の配備状況( や整備を行う。	D 度から 検討	確認•整備	き実施		き実施 0	の十分な確保	き実施	要資機材の配備の検討を行 う。	度から 検討	討する。	度から 検討	配備状況の確認や整備を行 う。	度から 検討						4
																												4
																												4
	水防資機	表材の	3.20【全同巡迴時广水附闭。	• D1 年度	・水防咨等社の配備サラの確認を実	김송설송		.fo	15]久反において水肚	後 . 21未结	。D1 年度の出水期前に零集	. 21条维 . 7	と昨夜廿の十分か時程	21 朱维 .	予算の範囲内で引き結合家	. 21本株 .	・以薬に広げ、面新・砂鬱た	·21+44	, 調本, 於針左線鎮	<ul><li>引き続</li></ul>	・出水期前に確認を行い、補	, 21 赤纽		ļ				4
	確認・整	備 自治体と 年出水期	一緒に水防資材を確認。毎日前に実施。	実施済、引き	・水防資器材の配備状況の確認を実施(各地域)。 ・水防倉庫の修繕整備(棚を設置し収	実施		機材足数	の配備状況を確認し、を補充するなど整備を	不き実施	・R1年度の出水期前に実施。	き実施	I MI JETT V T VJ G-ME INC	き実施が	E.	き実施	・必要に応じ、更新・配置を 行っている。	き実施	DOLL TRAIL CHEENLS	き検討	充している。  ・地元町内会長からの申し出	き実施						4
				続き実 施	納力及び使いやすさを向上)			i i i i	ている。 29.3 ] 提防が局所的に	IF											により、不足分を補充してい る。							4
								て、行っ	須戸橋右岸堤防におり 大型土のう更新作業を た。定期的に状況を確	想																		4
								الما	更新を行う。	-																		4
①新技術を活用した水防資機材の検 計及び配備	H28 M,P, 年度	*新技術	(水のう工法等)を活用した水	・H28年 度から	・新技術を活用した水防資機材等の配 備を検討する。	記・H28年 度以降					・情報を収集し、必要性を検 対	H28年 度から									・H23水害の教訓として、市の 倉庫や消防器具置場、町内	H28年 度から	該当無し	-1	青報を収集し、必要性を検 する。	H28年 度		
討及び配備	Q 検討	10170 201		検討	MEC1207 7 000	検討					B3	検討									会館等に配備済みで、新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する。	検討		"		から検 討		4
																					の配備を検討する。							4
																												4
	新技術を	活用																										4
	した水防 材の検討	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			・耐候性土のうの整備(三条、長岡)。	・順次整備					<ul><li>情報を収集し、必要性を検討予定。</li></ul>	・引き続 き検討									・出水期前に確認を行い、補	・引き続 き実施			引き続き必要な資機材を検	·引き続 き実施		
	200	う工法、第	信濃川下流水防演習で水の   製枠釜段工法訓練実施			_					111 Z.										充している。 ・地元町内会長からの申し出 により、不足分を補充してい	C X 115			•			4
		・R1.6.2信 う工法訓	濃川下流水防演習でも水の 練展示	)																	る。 ・新技術を活用した水防資機							4
																					材等の配備については、検討 中。							4
																												4
		·簡易水·	位計の設置 ロメラの設置	H28年 度から	・水位計・量水標の設置 ・洪水危険箇所における河川カメラ設置	順次整						- 1	危機管理型水位計の設置	・H30年 度完了														
		00177	57-707改臣	順次整備	置	i line								予定														4
②円滑な避難活動 や水防活動を支援	H28	•危険個	新に追加設置。	引き続	・刈谷田川(大沼新田)において、水位	立 ·H28実		-				· f	危機管理型水位計の設置	·H30年								-						
するため、CCTVカ メラ、簡易水位計	年度 CCTVカン JI から 簡易水位				計を設置(H29完了)(河川管理課) ・危機管理型水位計を令和元年度までに20箇所に設置完了。令和2年度に									度完了														4
や量水標等の設 置を行う	順次 量水標の	·R1危機 ·今後も	き管理型水位計9台追加設置 管理型カメラ5台追加設置 犬況に応じて検討する。		29箇所に設置予定。(河川管理課) ・簡易型河川監視カメラを令和2年度	降順次 実施予																						4
					に48箇所に設置予定。(河川管理課)	定																						4
③洪水予測や水	水害リス	び洪水子	くクラインに基つく水位予測及 報を実施。 提力メラの非常用電源設備の	2020年 度まで	・水位局舎の常上げ及び電源装置の 長寿命化を検討する。																							4
位情報の提供の強化(ダム放流警	ンによる	予測 整備	緊急点検)			900																						4
報設備等の耐水 化や改良等、水文	J 機対 型カメラ. 計等の割		スクラインに基づく水位予測及 報を開始(R2~)。	と・完了																								4
観測所の停電対 策)【R2追加】	よる監視の整	-   -   -   -   -   -   -   -   -   -	脱カメラの非常用電源設備の	,		900																						4
			施 (H30完) 可川の浸水想定区域を踏ま	H29年	<ul><li>・庁舎等の耐水化の給討</li></ul>	H28年度							折たな浸水想定区域に対	広会後絵			・浸水想定状況等を参考にし	H28年					・庁舎の耐水化について、調	H28年 庁	金の耐水化について 調	H28年		4
		えて検討	THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH	度から検討	THE GOMESTIC CONTRACTOR	以降検討						L	た対策の必要性の調査等 含め検討	計		-	て、今後の対応について検討	度から検					査・検討する。 ・水害時の役場機能移転につ	度から   査	<ul><li>検討する。</li></ul>	度から検討		4
	H28	・三条出	張所電源設備の耐水化jを実	·R2予	<ul><li>・庁舎については浸水時の機能確保</li></ul>	•完了				_			新たな漫水想定区域に対 た対策の必要性の調査	応・今後検			・引き続き検討	討 引き続			***************************************		いて、調整する。 ・水害時には、役場機能を村 内別施設へ移転することを計	・引き続・:	公表された浸水想定区域に	·引き続		
4 庁舎等の耐水 対策	年度 から 順次 対策	)耐水 施予定(I	₹2~)。 .県管理河川の浸水想定区	定 ・引き続	・庁舎については浸水時の機能確保 の検討を行い、必要な庁舎で電力供 給の安全対策を実施済みである。							Li e	た対策の必要性の調査等 含め検討。	計				き検討					内別施設へ移転することを計 画している。	き検討がて	応した必要性の調査含め 検討	き実施		
	検討	<b>攻を踏ま</b>	えて引き続き快軒。	さ快討																								
		全国の 務所及び	災害活動拠点施設となる事 (事務所をつなぐ重要な通信	2019年 度まで																								
		策、通信	事務所をつなぐ重要な通信 (10地方整備局等)の停電対 機器の整備が不足している																									
O COLOR OF THE	light.	事務所へ 等を実施 (2018緊	・災害対策用通信機器の増強 。     今点格	a de la companya de l																								
① ⑤庁舎等の停電 対策【R2追加】	S 模討	(2010案	SMITA/																									
		該当なし		2019年 度まで																								

(17.24) 42.11				※「課題の対応(		の現状の課題であり、各取組がどの課題(	詳細は「信濃」		十」参照)に対							I								資料5	
減災のための	取組項目(概ね5年間) 課題 目標 内容	北陸地整	新潟県		新潟地方気象台	新潟市		長岡市	1	三条市	1	加茂市		見附市		燕市	_	五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
頃 事 カテゴリ	の 目標 内容 対応	実施内容	時期 実施内容	時期	実施内容	時期 実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■避難行動、水防	活動、排水活動に資する基盤等	水害に強い信濃川下流域づくり協議	順次実 水害に強い信濃川下流域づくり 施 会等において情報共有を実施。	J協議 順次実				情報共有が必要となる対象	H30年					I	Т		1 1								
			施 会等において情報共有を実施。	施				施設及び情報等を検討。	度以降 検討																
6災害拠点病 等の機能確保 めの対策の事	院のた 施状 S 順次 検討 災害拠点病防 等の機能確係 のための対策 の実施状況を	Ł																							
況を共有(H30 加)	施仏 S 検討 の実施状況を 共有	協議会等において災害拠点病院等の 機能確保のための対策の実施状況を	) 引き続 協議会等において災害拠点病 き実施 機能確保のための対策の実施	院等の 引き続き 状況を 実施				_	・今後検 討																
7,542	, A	共有	共有																						
			・排水機場の耐水化を検討する	5。 H28年度		津波浸水などを含め、耐水	化 H30年			・今後の対応について検討	今後検	・排水機場の耐水化につい	H29年	・施設状況等に応じて、今後 の対応について検討	H28年							排水機場の耐水化につい	て H28年 ・・	後、事業化に併せて、内	H28年
				以降検 討		津波浸水などを含め、耐水 について、調査検討する。	度以降 に検討			(該当施設の調査等)	割	て、検討する。	度以降 検討	の対応について検討	度から検						ā	調査・検討する。	度から オ検討 オ	に係る超過降雨による洪 時に備えた排水機場の耐	度以降 に検討
							を開始								耐								2	化を検討(ポンプ場の設計 準改定においても、耐水化	を開始
	H20																						1	含めて検討中)	
⑦排水機場の	耐 T.U HZ8 年度 から 排水機場のTi	t	・今後、更新を含めた事業化が	計画さ・引き続		排水機場更新のタイミングに	こ更新時			・今後の対応について検討	• 今後検	<u>-</u>	•今後検	・平成16年の水害を契機とし	<ul><li>引き続</li></ul>		l					検討中。	· 引き続 ·	:地改良事業計画設計基	• 引き続
JK16	ル		れている排水機場の耐水化に て、関係者と調整、検討する。	つい き検討		合わせて耐水化を実施	期に実 施			(該当施設の調査等)。	討		計	て耐水化を高める改修を行っ ており、現時点では耐水化改	き実施								告	設計「ポンプ場」H30.5.22 定の技術書で河川の氾濫、	き検討
														修等の必要性が高くない。引き続き、施設状況等を確認し ながら必要性を検討していく。									<b>声</b>	朝津波等に対する対策が り込まれており、今後更新 含めた事業化が計画される	
														なから必要はを検討している。										水機場については、耐水対を検討する。	
																								212017 00	
		・洪水ハザードマップに記載されてい る民間施設等を活用した緊急的な避	随時	10000		必要性のある エリアの検討	R2より 検討	・緊急的な避難先として、民間施設の活用について検討	R2年度 以隆柃	<ul><li>緊急避難場所の指定</li></ul>	引き続き実施	・民間施設の利用を検討	・引き続 き検討	該当なし		<ul><li>指定緊急避難場所の指定</li></ul>	·今	後の対応について検討	今後検討			・退避場所として適切な場所 を検討する。	Fi		
	安全な避難均	難先の事例を収集し、調整内容や協	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			を行う。	SAM2		討				C DAIL?									_ 5,17, 00			
(3) 高応急的な退 所の確保【R	避場 2追 E 順次 所への避難が 困難な地域に	「等を通じて情報提供。																							
加加	おける避難均所の整備等	•				検討中	引き続 き検討			<ul><li>緊急避難場所の指定</li></ul>	引き続 き実施					・指定緊急避難場所は設置 済み	<ul><li>・ 開時枠</li></ul>								
																・施設の統廃合等により指定 箇所の更新を検討	討								
	<ul><li>図組 ①信濃川下流等の大規模 計画等に関する事項</li></ul>	水害の特徴を踏まえた避難のための取	組			·				•				•		1									
	河川防災情報		・新潟県河川防災情報システム 良及びスマートフォン向け画面	の改 H28年度 の検討 以降検		・川の防災情報の充実	度から	・SNSの活用による情報発信 ・川の防災情報の充実	引き続 き実施	制) やツイッターなどを活用	引き続 し き実施	・川の防災情報の充実	引き続 き実施	・川の防災情報の充実	引き続 き実施	・SNSの活用による情報発信 ・川の防災情報の充実	引き続 き実施			弥彦村の防災メール(登録 制)を活用し、情報発信を実	引き続 き実施	川の防災情報の充実	引き続 き実施		
	等のシステム改良			甜			実施			た情報発信を実施									ħ	苞					
	スマートフォンを活用した情	,	・平成29年出水期までにスマー ン版サイトを作成。(H29完了)(	・・ 引き続 (河川 - 歩字性		<ul><li>・川の防災情報発信のため、 防災メールやツィッターなど</li></ul>	・引き続	・SNSの活用による情報発信	1 ・引き続	・メール配信サービス(登録 制) やツイッターなどを活用	引き続	・情報発信の手段の多様化に	こ・引き続	<ul><li>防災情報の的確な配信体制の構築に努めた。</li></ul>	・引き続	・SNSの活用による情報発 J□	・引き続き事施			弥彦村の防災メール(登録者)による情報発信を実施	・引き続き	メール配信サービス(登録	・引き続		\
	報発信 SNSを活用し		管理課)	大安		のシステムを整備している。	で大肥	と大肥平。	C 大肥	た情報発信を実施	して大肥	・河川等の情報収集能力向上のため中央指揮所の整	・整備済	の情報に労めた。	こ 大肥	・川の防災情報の充実。	0 天池		1	中。	2天肥	的/を冶用した旧報光値を 施	大で大肥		
	た情報発信		施。(H31実施。R2年6月末まで 予定) (河川管理課)	に実施								備。													
		<ul><li>・信濃川下流域情報共有ブラットホームにおいて、阿賀野川河川事務所及</li></ul>	施																						
		び信濃川河川事務所の防災情報をあ わせて一元化し、共有・閲覧できるシ ステムを構築。	5																						
		ステムを構業。																							
	信濃川下流均情報プラット	<ul><li>阿賀野川流域、信濃川中流域追加</li></ul>	・信濃川						-				-		-		-								
	ホームの拡充	<ul><li>+H30年度4月よりX,Cバンドレーダーを 合成したものに統一</li></ul>	H30年																						
		<ul><li>・H31年度緊急情報と事前情報に情報提供を整理</li><li>・想定氾濫図、簡易水位計情報を追加</li></ul>	運用開																						
		・ぶた心座画、前勿小型計算報を追加	III YO																						
		・アドホック(簡易)水位計の整備。	順次実・隣県水位局の情報を掲載	H28年度·気象	象警報・注意報を発表し、	引き続													+ +						
		・プッシュ型の洪水予報等の情報発 信。	施・洪水時における水位の緊急退 ルの検討	討 間、日	ピーク時間帯、雨量などの	き実施																			
				予想:	最大値を周知																				
	水位・気象情	完了した。ブラットフォームに掲載完	・引き続・隣県水位局の情報を新潟県活き実施 災情報システムで公開する。(F	129完 き実施 ステム	ム等で洪水、土砂災害危																				
	報等の情報系 信	<ul><li>・プッシュ型の洪水予報等の情報発信</li></ul>	・H29.5 了)(河川管理課) 実施・河川情報のブッシュ型メール語	記信	分布を引き続き提供中																				
		・洪水時に特化した低コストな危機管 理型水位計を9箇所施工した。	+H30年 度完成 リービスを開始。(R01配信開始 度完成 リービスを開始。(R01配信開始 度完成 リービスを開始。(R01配信開始	80人河																					
		22.7.21.2.2.7.13	川防災情報システムにて公開。 公開開始)(河川管理理)	, (R01																					
①リアルタイ. 情報提供や			・簡易型河川監視カメラの画像 河川防災情報システムにて公開	情報を開。																					
シュ型情報の	0発		(R02公開開始予定)(河川管理	[課)				・市内設置の河川監視カメラ	71赤线	・キー / ページトで河川カッ	二日本结					・市内冠水危険箇所における	アルキュ								4
実(水位、気: 実(水位、気: 報、土砂災害度情報、カメ 像、ホットライ	R情 G,H 順次 危険 I,J 実施							・市内設置の河川監視カメラ 映像の提供	き実施	の映像を公開	き実施					監視カメラの整備	き実施								
度情報、カメ像、ホットライ	<del>ラ映</del> ンな カメラ映像の 情報提供							・ホームページ トで河 川カメ	ラ・引き締	・ホームページトで河川カ;	ラ引き締				-	・【H28.7】整備済み。	・H28年								-
ど)【H30一音 加】【R2一部)	加							<ul><li>ホームページ上で河川カメの映像を公開。</li></ul>	き実施	の映像を公開	き実施					L. I.C 7 IE MEDICA	度完了								
			・自治体へのホットラインの実施	恒 H28年度・必要	要に応じて、自治体に情報	引き続																			_
				以降検 伝達( 討	(ホットライン)を実施	き実施																			
	自治体への情報伝達(ホット			3,272		31.4.0																			
	報伝達(ボットライン)		<ul><li>・ホットラインを確保済み。</li><li>・H29出水期から運用開始。</li></ul>	・引き続 ・適宜 き実施	直実施中	• 引き続 き実施																			
						・ 危険箇所の範囲や避難所	H28年	・緊急告知FMラジオ購入費料	哺引き続	・三条市メール配信サービ	ス 引き続					・防災情報メール(登録制)の 周知、普及	引き続・携	帯電話やパソコンのメー	- 引き続・	防災情報メール(登録制)の	カ 引き続・	・防災情報メール(登録制)	の引き続		_
						・危険箇所の範囲や避難所 の位置を分かりやすく表示。 る「にいがた防災アプリ」につ	す 度から 実施	助制度の周知 ・防災情報メール(登録制)の	き実施	登録者の増加に向けた取制 を実施	き実施					周知、普及	×-	-ルについて、更なる普及	ž	問知、普及	き実施	<b>割知、普及</b>	き実施		
						いて、更なる音及のため周 知・広報を室施する.		周知、普及									の7 る。	ため周知・広報を実施す							
	防災アプリ・ラ					・緊急告知FMラジオの購入 費助成制度について、更な 普及のため周知・広報を実	5 #=																		
	ジオ・メールの 更なる普及の					する。	15																		
	ための周知・ 広報					・緊急告知FMラジオの購入	・引き続	・ホームページ等でFMラジオ 購入費助成制度や防災情報 メールの周知を実施。	引き続き事体	・三条市メール配信サービ	ス・H28年 中学生					<ul><li>・登録者増加に向けて普及活動実施中。</li></ul>	・引き続・出	水期前の市広報紙での	周・引き続・	弥彦村ホームページ内に、	・引き続き	ホームページ、広報誌等	・引き続きままた		
						受助成制度について、THP 及び市報にいがた掲載し市 民に周知。	さ美胞	購入質明成制度や防災情報 メールの周知を実施。	さ美胞	登録者の増加に向けた取制 を実施。	1 度美胞 済、引き 続き実					到 夫 他 中 。	さ美胞 知 市分	に加え、田削講座や移動 長室、催事での周知を実	さ美胞	防災メール登録ページを掲 している。 広報やひこ(12月・2月号)	取ざ美胞 1	題して防災情報メール(登) 制)の周知実施。	家 さ美胞		
						DC1C/BJAN o					施						100			で、村民へ弥彦村防災メールの登録周知実施。	L				
																				- 22007-7000					
						・津波用として設置してある 報無線について河川洪水用	度から																		
						としても活用するよう、既存 備の運用変更を行う。	設 実施																		
	津波用同報無																								
	線の活用					・津波用として設置してある 報無線について河川洪水用 としても活用するよう、既存	同 H28実 施済み																		
						としても活用するよう、既存ま 備の運用変更を行った。	ıx																		
			<del></del>		<del></del>	·				<del></del>		<del></del>				<del></del>				<del></del>		<del></del>			

						※ 課題の	対応(A~Z)」は減災対策について	の現状の課題で		詳細は「信蔵」		一参照)に対															143U
減災のための	)取組項目(概ね5年	年間)	北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市	_	三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町	農政局	
項事 カテゴリ	課題 の 対応 時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容 時期	実施内容	時期
■情報伝達、避難	計画等に関する事項	Ą									数条件をロエルニジーナラック	21:4:4							- 四田/林学日ごご有川等日	2124			- <b>ム</b> 図10日《安ま味ナニア	. 21 12 60			
											・緊急告知FMラジオを町内 会、要支援者等へ配布	き実施							・汎用(放送局デジタル選局 式)FMラジオの配備事業	き実施			・台風19号災害を踏まえて、 配備を検討中。	き検討			
											新祖英士福孝。和大淳九 	21:44							<b>港及江縣安佐山</b>	. DI±4#			. A 图 1 0 目 《 密 + 9 * + 5 *	. 21 土体			
①リアルタイ. 情報提供や	ムの グッ	Mラジオの配 事業									<ul><li>新規要支援者へ配布済み。</li></ul>	引き続き実施							・普及活動実施中。	き実施			・台風19号災害を踏まえて、 配備を検討中。	き検討			
シュ型情報の	<u> </u>																										
② 信、防災情報 実(水位、気: 報、土砂災害 度情報、カメ	R情 G,H 順次																										
度情報、カメ	ラ映																	-	・燕市観光・防災Wi-Fiステー	引き続							
ど)【H30一音	3追																		ション整備	き実施							
加】【R2一部道	Wi	i-Fiステー ョン整備						ļ											・整備済み。	·H28年							
		コン正明																	・金川内が。	度完了							
						or de obs	770	71.4.68																			
			·これまで別々に管理されてきた水害 土砂災害に関する情報を統合表示す	·	新潟県総合防災情報システムで、河 川、土砂、震度、道路の防災情報を一	順次実 施	・危険レベル(警戒レベル)の 導入に関し、洪水予警報発表	引き続 き実施																			
			るシステムによる情報提供を開始。 (2018年緊急点検)	1	元集約し、市町村や関係機関へ情報 伝達する。		形式の見直しを行い、発表情報の参考となる警戒レベルが																				
<ul><li>②危険レベル 一化等による</li></ul>	災害 順次 書	水害・土砂災 害に関する情					分かる発表文にて運用。																				
情報の充実と 【R2追加】		提供	令和元年~ 現在の整備を行ってき た水位情報等の提供システムに、土				令和元年5月29日 レベル化 に対応した相当情報記載の改																				
			砂災害警戒情報等の情報を表示する か検討中。	5			良電文にて洪水予報の運用を 開始。洪水予報運用要領を改																				
							定済。																				
			・出水時に、国土交通省職員等普段 現場で災害対応に当たっている専門 家がリアルタイムの状況をテレビやラ	随時																							
			シオ寺のメナイドで解説し、状況の切																								
<b>4</b>			迫性を直接住民に周知 (2018年緊急点検)																								
③洪水予測 <sup>4</sup> 川水位の状況	PP DU 1.	専門家が、テ ビ等のメディ																									
する解説【Ri		でリアルタイ ムの状況を解	令和元年~ 出水時だけでなく、平 時にも河川の注意点について国土交	随時					***************************************																		
7,0.1		説	通省職員による専門家がTVニュース で解説を実施。また、豪雨災害に備																								
			え、北陸地方整備局と新潟気象台職 員による合同記者会見を実施。																								
			「新潟県メディア連携協議会」を設立 し、関係機関と情報共有、連携。																								
				· 阿特·	<ul><li>ダム宗成後も、定期的にその効果や機</li></ul>	順次宝																					
		1	の段階や完成後も定期的にその効果や機能等について住民等への周知を	1	・ダム完成後も定期的にその効果や機能について周知を実施	施																					
④防災施設の 能に関する情	D機 報提 2追 H.I 順次 実施		実施。																								
供の充実【R 加】	2追 円1 実施		出前講座、防災学習等を通じて実施。	。引き続 き実施										-				T		İ							
			・避難行動に繋がるダム放流情報の	随時	・避難行動につながるダムの情報発信 について情報内容やタイミングを改善	順次実		順次	検討を行	国や県	・管理者から通知されるダム	引き続	・ただし書き操作の予告連絡	引き続	・ダム放流情報を活用した避	R2以降	・情報伝達や対応手順を関係	系	該当なし		・今後の対応について検討	今後検			該当なし		
	退か	パスガ / 地本	位情報寺の	۲ ا	について情報内容やタイミングを収害	池		۰,		係機関	放流情報により避難情報発 令を検討	き実施	があったときに避難勧告を発令		難体系の催立	<b>夜</b> 討	者間で共有					83 83					
	作 第	情報の内容や 新知タイミング	活用などが必要なダムの発表を、共 同で実施。							からの 情報提			・避難情報については適宜見 直しを実施														
⑤ ダム放流情 活用した避難	体糸 H.I 霊霊 1	の改善、河川 K位情報等の								供後か ら検討																	
の確立【R2追	70.1	舌用などを河   管理者とダ	ダム管理者と検討を実施(R1~)	引き続				検討	ф	引き続き検討			・ただし書き操作の予告連絡	引き続	・今後防災計画の見直しをしていく過程で検討する												
	I I	管理者が共同で実施		き実施						で快耐			があったときに避難勧告を発令 ・避難情報については適宜見		に 八週程 (快計する												
			III-bis i= bit 7 b / l = /s milet	1 ICE shorts	・市町村が作成するタイムラインに必	nce visuation	明 左 編 明 1 * 本 編 1 よ 5 本 ベ パー	ICE view film 1997	S 466 RR 1 (** 145 ) + 15 F (16 A**	- B B A	用用 (本 140 月月 1 7本 146 1 ユ ラナバ (ボ	10% sile rife	直しを実施		<b>開発を経済を持ちして本様しよりたの</b> なご	10% sales ethn	RR /大 JR RR 1 *本 HB 1 → D+ ババイ	10% sky rifts	用用に16月日 1 7本 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10E sky rifts	用日本16月日 1 7年1年1 ユ DE-004年	10% siles ethn	用目に 186 月日 1 7年 186 1 ユ ラトバス ベー	ICE skyrtin	開発 /大 4 8 月 日 1 7 年 4 株 1 土 1 1 年 6 6 6 7 1 1 1 元 7 未 7 日 1 1 日 1 1 日 1 1 日 1 1 日 1 日 1 日 1 日		
			・ロボ後におけるダイムラインの検証。 改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供な	施 3	・巾町村が作成するダイムフィンに必要な水位情報等の提供など	施施	・関係候例と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備	施 動計	画(タイムライン)の整備	ど関係	動計画(タイムライン)の整備	施施	定区域の見直しや、平成27年	き事施	・関係候例と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備	施	・関係候例と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備	施施	・関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備	施	・関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の検討	施	・関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備	施重	関係機関と連携した防災行 順次美 計画(タイムライン)の整備 施		
			・必要に応して、水位情報等の提供な ど	•				を検	H	機関からの情			9月の関東・東北豪雨を踏ま え、ワーキングを開催して検	1 1													
										報提供 後から 検討			証を行い、必要な見直しや新 たな課題の抽出を行ってい														
	(99)									筷訶			<b>ీ</b>														
	備)		・流域市町村のモデルとして 三条市	- 2 歩縛 -	・ 必悪に広じて永位情報等を提供す	- 리杏絲	避難判断其準の給討について	· 21去線 · 脚在	E機関と連維した防災行	H29H	・刈公田川の関係機関と連携	1 - 2  赤緋	・避難に対する差え方や避難	·H30年	- 関係機関と連携した防災行	· 国 但	・関係機関と連増した防災行	•H30整	・関係機関と連携した防災行	· 🖹 🗓	<ul><li>関係機関と連維した防災行</li></ul>	- 国 道	・第定済み (由流域)	- 21 去絲 -	関係機関と連携した防災行・国、県		
6関係機関と した防災行動	連携実施を	イムラインの	の関係機関と連携したタイムラインの 検証を支援していく。	き実施	・必要に応じて水位情報等を提供す る。	き実施	は、市町村訪問により、H31.3 改定の避難新告第に関するガ	き実施動計	画(タイムライン)の整備	水期より水位	した防災行動計画(タイムラーン)を実施運用。	イき実施	情報の出し方など、対応全体の在り様を改めて給封する	度実施	動計画(タイムライン)の整備を給計	など関係機関	動計画(タイムライン)を整備	備済	動計画(タイムライン)の整備を検討	など関係機関	動計画(タイムライン)の整備を給計	など関係機関	・災害の激甚化を踏まえて、	き実施し	助計画(タイムライン)の整備 など関		
(タイムライン) 整備	の証・選の	5.14.00县.女	IXIII EXIXOTO TO				イドラインに沿った避難判断基準の解説を実施し、市町村支		IDAE/III	周知河	7 C XIBEIII		DE 7182 400 CDE17 00		20010	からの情報提	見直しを図る。		E IXIII	からの		からの情報提	XEO2113 CV 08		からの		
	引き 続き 実施						援を行う。また、これにあわせて台長に			いても運						供後か ら検討				情報提 供後か ら検討		円後か ら検討			情報提 供後か ら検討		
	<b>大</b> 爬						よる首長訪問を実施し、市町 村との連携強化を図る。															554					
							県内全市町村への首長訪問、 防災担当者打合せを実施。。																				
			・出水後におけるタイムラインの検証。	と順次実	・市町村が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供など	順次実	・北陸地整・県・市・町と共同	順次実・ホッ	トラインのタイミングや「	〒H28年	・信濃川等の各観測所ごとに	H27年	・水防法の改正に伴う浸水想	引き続	・避難情報のためのタイムラ	H28年 m かご	・市町村間をまたぐ避難勧告のためのなど	H28年	・事前防災行動計画(タイムラ	H28年	・協議会の中で検討する避難	H27年 廃かご	・市町村間をまたぐ避難勧告	·H28年 ·	避難勧告のためのタイムラ 平成28		
			□X書 ・必要に応じて、水位情報等の提供な □	JAC 13	安は小世間報寺の提供など	旭	し、空调・収音を又抜	ムラ・	体制などにういて、ダイインの改善を実施する。	検討	応じて見直しを実施	実施	9月の関東・東北豪雨を踏まえ、ワーキングを開催して検	・さ夫肥	インの金襴	検討	のためのダイムフィンの登場	検討	・市町村間をまたぐ避難勧告 のためのタイムラインの整備	検討	計画(来) 等をふまん以書を 行う ・河川管理者と連携を図り、	順次実	のためのタイムフィンの空間	次実施・	プロ・ 市町村間をまたぐ避難勧告 のためのタイムラインの整備 施		
	(8%		۷.										証を行い、必要な見直しや新たな課題の抽出を行ってい						のためのティエティンの亜洲		改善・整備を行う。	ne .		き実施	かためのティム グインの 金属 一胞		
7避難勧告等	の順次												る。 る。														
発令に着目し 災行動計画(グ	7イ C (検 整	イムラインの 備・改善・支		2		NCC view Male	***	31+44 144	. AL -	31+44	MARINA E / I = /3 ±	31+44	**************************************	11005	<b>海水山平水河山水水</b> 区1.14	31+40	Julian III a b / / = c) +	#b /#b 1	F RR /5 John R   3   + 6 m + 10 * 2	31+40	利用 27 Jan 利用 しつしょ かま よよれ ***	31+44	/ P40 P W S M A M II M	31+40	海山林内内域 1964年3月1日 - 1964		
ムライン)の整 及び検証と改		ŧ	・/月出水、台風19号寺で各自冶体が タイムラインを活用した旨を確認した。	o H29.10 · 。調査	・刈谷田川(長岡市、見附市)、中ノロ 川(新潟市)、小阿賀野川(新潟市)、 能代川(新潟市)のタイムラインを策定	備	流域日冶体の要請に応じ週 宜、作成支援を実施。	<ul><li>・51き続・洪ス</li><li>き実施 イン</li></ul>	K対心演省時にダイムフ 上確認。	・引き続き実施	・刈谷田川のタイムフインを H28年度に整備済み。	・引き続き実施	・避難に対する考え方や避難 情報の出し方など、対応全体	使実施	・信濃川ト流河川事務所と連携したタイムラインを整備済	・引き続き実施	・刈谷田川のタイムフインを H28年度に整備済み。	·登備》 み	計・関係機関と引き続き協議。	・引き続き実施	・関係機関と引き続き協議。	・引き続き検討	・台風19号接近時の役場対応の反省点等から、避難所	・51さ続・	浸水想定区域を踏まれ、例 ・引き制 系機関と協議。 ・ き実施		
	実施			ž	済み	き実施							の仕り様を収めて検討する。	済	み。 今後検証と更新を行う。								内のレイアワトや備蓄品の見 直しを行っている。				
					・五十嵐川について(H30.7.5)タイムライン策定(三条)																						
					・その他河川についても順次策定予 定。																						
			<ul><li>信濃川下流洪水浸水想定区域図の 策定・公表。</li></ul>	H28年 度から t	<ul><li>・想定最大規模も含めた浸水想定区 域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の</li></ul>	H28年度																					
			東正・公表。 ・浸水継続時間の策定、公表。 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成	実施 !	域凶や家産団場寺北温忠定区域寺の 公表を行う。	討																					
			・家産団場寺だ温忠定区域図を下成 し自治体へ提供。																								
	*	水浸水想定																									
	区倒	域図·家屋 域等氾濫想	·【H28.5】信濃川下流洪水浸水想定区	☑ ·H28年 ·	・中ノロ川、小阿賀野川、能代川、加	・引き続																					
<ul><li>⑧想定最大規 含めた破堤点 水想定区域図</li></ul>	模夫	区域図の策 ・公表	域図の策定・公表。 ・【H28.5】漫水継続時間の策定、公	度完了 7	茂川、下条川、五十嵐川、刈谷田川、 猿橋川、茨曽根川、滝谷川、大正川、	き実施																					
			表。 ·【H28.5】家屋倒壊等氾濫想定区域図		布施谷川、鹿熊川、塩谷川、稲葉川、 才歩川、山田川、五社川、東大通川、																						
加)、家屋倒地	要等 F 順次		を作成し自治体へ提供。	4	牧川の20河川について公表済み。 (R02.3.31時点)																						
公表(浸水ナE による公表)【I 部追加】																											
部追加】	<u> </u>		<ul><li>・想定最大規模降雨の信濃川下流氾</li></ul>	. H28年																							
			濫シミュレーションの公表。	度から実施																							
		濫シミュレー																									
		ョンの公表	•H29年度公表。	・H29年 度完了																							
													1														

減災のための	の取組項目(	概ね5年間)	北陸地整		新潟県	次1課題(	の対応(A~Z)」は減災対策について( 新潟地方気象台	D1964K00B	新潟市	- NG ( A ) NG ( B	長岡市	1139227~2	三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局	100
項事 カテゴリ	課題の対応	目標 内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容 [	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■情報伝達、避難		する取組 浸水想 次浸 を 経 発 に を 経 発 関 壊 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	·浸水想定区域の浸水深、浸水超越時間及び家屋倒壞危険区域の情報供を行う。  区域、水。 - (H28.5]浸水想定区域の浸水深、淡水超続時間及び家屋倒壞危陵区域 東定小公表、阅陈强则、住民口划供,中等全通U广情報提供李飾。	実施 ・H28年 を 度完了	供を行う。 ・中ノロ川、小阿賀野川、能代川、	加・引き続川、き実施川、																						
		立ち退きが必要な	避難		才参川、山田川、五社川、東大通 秋川の20河川について公表済み。 (R02331時点)	III.				供像か ら実施		供後か	寺を検討・周知	供後か	1					I	- 浸水深、浸水維続時間及び 家医側端危険区域等より、立 度 気温を避難が必要な区域を検 討する。	周:	知する。					
		域・避難の検討	拉法						て、洪水ハザードマップに掲載し、全戸配布。	度実施 新潟らの	- 家屋何達危終区域等を確 し、立ち退き避難が必要難方法 域における柔軟な避難方法 等を検討。 ・屋内安全確保等、柔軟な 難方法の検討	胜 H29年 度以降		新潟県	又接い更なる口消化	・引き続	/리치 9 · 항·		より、検討は完了 (H30.4全戸 配布済み)。 ・現在、住民周知活動実施 中 中 中 の ・屋内安全確保等、柔軟な避		・浸水深3m以上・家屋領域 特 等記書想定区域について早 度 類数も退者製匠域として計 度に、ハザードマップに記載し た。 ・広域避難の他に屋内安全確 優等、柔軟な避難方法の検 度	29年 • 屋	E内安全確保等、柔軟な避		・R元本度受動にエハザート マップを参考に立道を避難が 必要な避難方法を検討する。 (R2.4.全戸配布予定)	・51さ続 き検討		
③立ち退き退 必要な区域及 難方法の検言	i難が D.E なび避 F.K	年度ら 原実施 屋内 実施 屋内 柔法の 発素が							・当該河川において、家屋倒 場等氾差想定区域内にある 避難所において、遊難所を解 設しないことした。(北区・関	情報後 ・H31年 度済み	・ハザードマップ作成と併せ検討。	実施で検討中	・屋内安全確保等、柔軟な <b>差</b> 難方法の検討。	供後から実施		・引き続 き検討	・想定浸水深と家屋の階数 で立返き避難、垂直避難の 断の目安をハザードマップ! 掲載し、周知する。	検討 引き続 判き実施			対	練	、ザードマップを参考にし、 後の自主防災組機避難訓 等に、住民に周知すると に確認を行う。	・引き続 き検討	・R元年度更新したハザード マップを参考に屋内安全確保 等、柔軟な避難方法の検討 する。	·引き続 き検討		
									方中) ・避難所ごとに水害時の浸水深や避難の可否について確認を行う。	情報提 供後か ら実施	認	実施		情報提 供後か ら実施			・避難所の浸水深等の確認 緊急避難経路の確認	検討		検討	・避難所の浸水深等の確認。 ・避難所の浸水深等の確認。 度 検	29年 · 選以降 聚: 計	難所の浸水深等の確認、  急避難経路の確認	検討		検討		
		避難所ご浸水深・	證整						・新たな洪水ハザードマップ にて避難所の評価を記載し、 全戸配布。	・H30年 度実施 済み	・ハザードマップ作成と併せ検討。	て 検討中	- 避難所の浸水深等の確認。 緊急避難経路の確認。	・H30年 度実施 済	- 避難所の浸水深をハザード マップに明示	R1.7実 施済	・ 想定景大規模除南での刈田川の浸水想定区域にもと ないザードマップ改定作業の 中で確認し、安全な避難が 保できない避難所は開設し いこととする。	)  =	・H29年度ハザードマップ完成したため、それを参考に検討。 ・ハザードマップへの掲載により完了(H30.4全戸配布済み)。	・引き続 き検討 完了	-新しい・ザードマップにて各・号 災害ことに避難所の評価を記され 載。	等	、ザードマップを活用し、今の自主防災組織避難訓練 の自主防災組織避難訓練 にて、住民に周知するとと に確認を行う。	・引き続 き検討	- 避難所の浸水深をハザード マップに明示した。	実施		
		自主防災 の育成・												-														
00参加市・前	. 241	計画規模 1428 水・想定:	<b>美大</b>	H28年 度順次 施	- 作成に必要な情報の提供及び策 を支援 - 市町村間の調整や運営上の課題 の支援	定引き続き実施	・作成に必要な情報の提供及 び策定を支援	H28年 H度か 接 順施	- 広域避難の現実性について 検討する。	H28年 度から 検討	- 近隣市町村相互援助協定 - 遠隔地災害時相互応援協 定	H29年 度以降 検討	- 近隣市町村相互援助協定 ・ 通開地災害時相互反政援協 ・ 退戻 ・ 想定最大規模の降雨による ・ 想定最大規模の降雨による ・ 選定最大規模の降雨による ・ 関係 ・ 関係 ・ 関係 ・ 関係 ・ 関係 ・ 関係 ・ 関係 ・ 関係	5  検討中		H28年 度から 検討	- 近隣市町村相互援助協定 - 遠隔地災害時相互応援協 定	H28年 度から 検討	- 近陽市町村相互推助協定 - 遠隔地災害時相互及婚協 定 ・ 広域避難の現実性について 検討	H28年 度から 検討	・北陸地整、駅 関係市町と 連携に計画規模法外に対す を を は変理能画を検討・策定 する。 ・北陸地整、県、関係市町と 連携に想定最大規模法外に 検 ・投 ・投 ・投 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	29年 以降	瞬市町村相互援助協定 隔地炎書時相互応援協	H28年 度から 検討	-近隣市町村相互提助協定 -遠隔地災害時相互応援協 定	H28年 度から 検討		
(Ψ参加市・団 よる広域避難 の策定及び3	計画 D.E 支援	1年の順来 ・模を 規模を 規模を が 関連を で の で を が に で の で が に で ら た が に が に が に が に が に が に が に が に が に が	智難 討・ <u>佐世に公事を体知を担併</u>	き実施	・引き続き作成に必要な情報の提修 び築堂を支援。 ・必要に応じて市町村間の調整や1 営上の課題への支援。	共及・引き続き実施 運	・引き続き作成に必要な情報 の提供及び策定を支援。	・引き続 き実施	・検討中。	・引き続 き実施	・新たな洪水ハザードマップ の検討と合わせて広域避難 の必要性についても検討	·引き続 き検討	<ul> <li>・近隣市町村相互援助協定 ・透隔地災害時相互応援協 定。</li> <li>・想定量大規模の降雨による 浸水を考慮した広域避難計 面の検討。</li> </ul>	き実施		·引き続 き検討	·引き続き検討。	・引き続 き実施	- 関係機関と引き続き検討。	・引き続 き実施	-検討中 - 6 - 84	検討 定→災協→災関 ・今	長野県 青木村とH28.7に 書時相互援助等に関する 定締結。 山形県 飯豊町R01.11に 書時における相互応援に する協定を締結。 ・後も他市町村との協定締	施、引き続き検	- 引き続き検討。	・引き続 き実施		
① 広域的な過 面や生砂等を反 ② 図	E整	H28 年度 洪水八十	と活用を促進する。	知 H28年 度から 実施	・ハザードマップボータルサイトの度 と活用を促進する。	周知 順次実 施			した洪水ハザードマップへの	からの 情報提	した洪水ハザードマップの別定を行い、全戸配布により	度以降	定・周知・ハザードマップポータルサイ	からの 情報提 供後か	・新たな浸水憩定区域に対応 した洗水ハザードマップの作 成 ・ハザードマップボータルサイ トの周知と活用を促進	度から 給計	・新たなハザードマップの策定・周知 定・周知 ・ハザードマップポータルサトの周知と活用を促進	度 から検	・避難所の災害別区分化、災害別を分配の投資の投資・新たないザードマップの実定・周知・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H29年 度から 検討	・ハザードマップの見直しを行 H2 い、全戸配布により周知す 度 る。 ・新たなハザードマップの策 定・周知 ・ハザードマップボータルサイトの周知と活用を促進	29年 · 新 以降 定· 計 · ハ	を検討する。 になハザードマップの策 周知 ・ザードマップボータルサイ )周知と活用を促進	度以降	・新たなハザードマップの策 定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	度以降		
图 水区域等をあ 新たな洪小 ザードマップ、 定・周知【R2・ 追加】	D,E D策 一部	HZ8 注水ハサ マップの 周知	(文章・ ・機会を捉えた周知、活用促進。	・引き続き実施	-検討中。	・引き <del>続</del> き検討			・新たな洪水ハザードマップを 作成し、全戸配布。	・H30年 度実施 済み	・現在、新たな淡水ハザートマップを作成中。	・引き続き実施	・新たなハザードマップの策 定・周知。 ・ハザードマップポータルサ・ ・ハザードマップポータルサ・ トの周知と活用を促進。	・H31年 度から 実施	・12想定のハザードマップを 配布済み	R1.7実 施済	・・地定最大規模降雨での刈田川の浸水想定区域にもとくいザードマップをR2策定・ ・・ハザードマップをR2策定・ ・・ハザードマップポータルサトの周知、活用については・ ザードマップの周知と併せ1 実施を検討。	1	・避難所標識は完成。 ・ H29年度ハザードマップ完成、平成30年4月に全戸配布。 ・ 出前課座や女性防災リーダー養成課座等で説明。	・完了 ・引き続 き実施	・新しい・ザードマップを作成・ し市内へ全戸配布、HPへ掲 載し周知を行った。	·R0 主即	29年3月完成。(広報誌配布に せ)4/25日に全戸配布。広報 面でほちまる」と併せ周知を 店。 0110/142027に実施した自 防災組織防災制線性で、再度 ザードマップの配布を実施。 ザードマップの全戸配布を検 する。	・H29年 度済 ・引き続 き実施 ・引き続	-R元年度更新。 (R2.4全戸配布予定)	R元年度 実施		
②水位周知河の見直し及び 指定の検討( 追加)	可川 (追加 H30 B	H30 水位周旬 の見 の見 がら 追 計 対	河川 及び の検		<ul> <li>・水位周知河川の見直し及び追加・定の検討</li> <li>・総代川の水位設定を見直し、新た</li> </ul>	以降検討	ž.												計。	84	- 関係機関と協議を重ね検 計 計 ・ 関係機関と引き続き値議。 ・ 5	原次検						
					千原水位観測局を指定水位観測局 追加。(R01出水期より追加) ・五十嵐川の水位設定の見直し及け 指定水位観測局の追加。(R2出水 より追加)	び、													<b>計</b> 。	討	<u></u>	検討						

i	<b>減災のための取組項</b>	[目(概ね5年間)	北陸地整	新潟県	の対応(A~Z)」は減災対策につい 新潟地方気象台	(の現状の課題であり、各収組から 新潟		長岡市	計」参照ルこ列	1%したものかを指す。 三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町	農政局	1100
項事 項	カテゴリ (対	題 目標 内容 時期	実施内容時	期 実施内容 時期	実施内容	時期 実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容 時	期 実施	內容 時期	実施内容	時期
■信	報伝達、避難計画等		・現状予測期間(~3時間) ・更に散時間(4~6時間程度)先も含度か め水位予測の精度向上の検討・シス デム改良を行う。	・上流水位局による下流水位予測を検   H28年       ら 計する。	e X																			
	③水位予測の検 計及び精度の向上 B	H28 年度 水位予測の検 対から 検討 が検討	・H23年度より水位予測を6時間まで予 引き 測する。 也水後に予測核度の検証を行う。 +H30年度より精度向上に向けた新た な水位予測システムを模案中 現行システムの老朽化に伴いサーバ を更新(R1完)	接・指定水位製源所地点における模断 ・引き施 測量を実施。(H28年度)	t to the second																			
	19.気象情報発信 時の「危険度の色 分け」や「整報級の 現象」等の改善	気象情報発達 時の1.危険度 中度 事成の色報度 の色報がの現 象」等の改善			・警報等における危険度の色 分け表示の現象になる可能 性点の情報提供 ・メッシュ情報の充実化 ・「危険度の色分け表示」、「 電板の可能性」、「危険医分 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	度出水期から実施																		
	15流域雨量指数	流域雨量指数		·滨域雨量推發(洪水)蛋報の危険度分 H29年 布)を活用した水害危険性周知を検討 討	・流域雨量指数(法水雲報の 危険度分布)を活用した水害 危険性関係を検討 ・協議会等で危険度分布の事 例解説を実施し、普及啓発を 図る。	度以降検討										- 関係機関と協議を重ね検討。	·順次検討	・関係機関と協議を重ね検 ・計 計。	順次検・関係 問知	係機関から指導を頂き、 同方法の検討を行う。 検討	年 ら			
	洪水警報の危険 度か水音店開用 地方水害危険用 を検討【H30追加】	(洪火警報の) B		-検討中	3月の避難勧告等に関するガイドライン(内閣庁) 改定を受けて、決水管側の危険度力布活用にむけた地域防災計画の改定支援を集施・气象合長により全市町村へ育長制防を実施、信せて、全市町村の新災担等を生危険度分布の解説を実施。保せて、全市町村の防災担当後と危険度分布利活用の打ち合わせを実施。[R01.4月-8月]	き実施										・関係機関と協議を重ね検 計。	·順次検討	・関係機関と引き続き協議。・・き	引き続 ・引き を検討 関等	き続き情報収集、関係機 引き 等と協議を行い検討する。 き検	it.			
-			・洪水対応演習の実施 ・プラインド型水害対応訓練の実施 き実派		き・洪水対応演習により実施	引き続 ・洪水対応演習によ き実施	り実施 引き続き実施		引き続き実施	・信濃川下流河川事務所等と の合同訓練の実施	ピ H28年 度実施	・洪水対応演習により実施	き実施	市、消防組織、水防団の連携した訓練を毎年実施。今後 機した訓練を毎年実施。今後 抗関係機関の連携に努めた 訓練を実施する。	引き続き実施		引き続き実施	・洪水対応演習により実施 き	引き続・洪 注実施	水対応演習により実施 引きき実		こより実施 引き続き実施	・平成28年3月に土地改り 設管理者のための業務制 計画 (BCP) 策定マニュア 策定。施設管理者におけ BCP策定の取り組みを進 る。	継続 年度~ ブルを 平成32 トる 年度ま
	16関係機関が連 (機関が連 (機関が連) (機関を) (機関が連) (機関が)		· [H31.427]洪水対応演習実施。 · [R1.6.2]信濃川下流水防訓練を実 途 ・[R1.]関係機関の防災訓練に参加。	接 · [H31.4.26] 洪水对応漢音を実施(新 滋 斯津、三泉、長岡)。 - [R01.6.2] [國連川下流水前剛線~参加 (所図1.5.19[福測中電水抗訓線~ 参加(三泉、長岡)。 - [R01.5.19] 限市防災訓練「参加 (別谷田川退水地警戒情報を信施設 の動作確認実施)(長岡)。	E [H31.4.26] ·洪水対応演習を実施。	- 引き綾 - 洪水対応演習によ き実施	り実施。 ・引き き実施	表 ・【H31.426】洪水対応演習 より実施。	・引き続き実施	- (R1.5)出水期前の水害対応 総合防災訓練の実施。	・引き続 き毎年 実施	- [H31426]洪水対応演習により実施。同時に下条川ダムと情報伝達訓練を実施。	・引き続 き実施	【R15】関係機関が連携した 総合防災訓練を実施	・引き続 き実施	- [H30.5.20] (中流域) 訓練を 実施。 - [R1.5.19] (中流域) 訓練を 実施。 - [R1.6.2] (下流域) 訓練を実施。	・引き続 き実施	-【R1.6.2】出水期前に市主催 ・ の水肪削機を実施。 き	報伝 ・【R( 災組 マッ	□達訓練に参加。  10.14、20、27】自主防  10.14、20、27】自主防  10.14、20、27】自主防  10.14、20、27】自主防  10.15、27〕の再配布を行い、洪水  10.15、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、	÷続・【H31.4.26】洪ス 施 より実施。	・引き続き実施	土地改良長期計画H28.8 議決定に農村協働力を浸 した防災・減災力の強化 て土地改良施設管理者 務継続計画(BCP)の策 掲げられ、大規模土地改 設の業務継続計画(BCP) 定を推進中。	とし の業 定が 7.良施
-	⑦市町村庁舎や		・情報伝達元の市町村に対し、正確か 順次: つすみやかな予警報の伝達に努め、施 また、ホットライン等も含めた新たな取 り組み等で協力して行く。	実 新潟県総合防災情報システムで、河 川、土砂、農度、道路の防災情報を一 元集約し、市町村や関係機関へ情報 伝達する。				浸水想定区域等に位置する 要配慮者利用施設に電話。 絡及び緊急告知FMランが 設置を考望した施設にはラ オによる情報伝達を実施し いる。	連 き実施 の ジ	・災害対応マニュアルで定め ており、毎年の訓練等で体制 や方法について随時見直す。	き実施		3	連絡網、連絡先の更新・登理 を毎年行い、連絡体制を構築 する。	引き続き実施	・関係機関と協議を重ね検 討。		連絡網、連絡先の更新・整理 弓 を毎年行い、連絡体制を構築 き する。						
	災害拠点病院の	K 東施 達	・市町村とのホットライン等構築 ・CCTVやアドホック(服易)水位計等 の配置は市町村庁舎・交客拠点病院 に配慮して実施	接 ・平成21年度から運用中 ・令和元年9月末にシステムの本運用 き実施 を開始。	E			実施中		毎年の訓練等を通じた体制 や方法の見直しを実施	・引き続き実施			施設関係者への連絡網を毎 年見直している。	引き続き実施	・関係機関と協議を重ね検 計。	・順次検討	・水防における情報伝達体制・ さ構築済み。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	引き続 5毎年 実施					
	時から住民等への周 ①自治会や地域		・水害・リスクの高い箇所について、自 引き 治体・地域住民と共同点検を実施す る。	機 ・出水期前に自治会や地域住民と重 H28年 要水肪箇所の共同点検を実施する。 施		住民で重要水防箇所同点検を実施する。	所等の共 き毎年 実施	住民が参加して重要水防管 所等の共同点検を実施する	音 き毎年 5。実施	いて、河川事務所、地域住民 等と共同点検を実施する。	度実施 (上須頃 地区)	要水防箇所等の共同点検を実施する。	き毎年 実施 (	参加して、リスクの高い区間 の共同点検を実施する。	き毎年 実施	住民が参加して重要水防箇 所等の共同点検を実施する。	き毎年 実施	・河川管理者と自治会や地域「5 住民が参加した重要水防笛 き 所等の共同点検を実施する。実	き毎年 住民 実施 所等 討す	民が参加して重要水防箇 き実 等の共同点検の実施を検 検討 ける。	施 住民が参加して 所等の共同点相	重要水防筒 き実施 を実施する。		
		引き 続き 乗施 の共同点検	「RI1.5.23・29]自治体・地域住民と共 き有 同点検を実施した。 実施	接・【R01.5.23]信濃川下流水防連絡会 ・引き性 主催で県及び湖防機関及び関係自治 き毎年 会等の参加で重要水防箇所の巡視を 実施(新潟)。	Ė	・河川管理者、沿川 共同で重要水防笛 検を行った。	自治会と・引き 所等の点 き毎年 実施	表・【R1.5.29】河川管理者と自 会や地域住民が参加して重 要水防箇所等の共同点検 実施。	治・引き続   き毎年  を実施	・【RI.5】水害リスクの高い値 所について、河川事務所、地域住民等と共同点検を実施。	・引き続 き毎年 。実施	・【R1.5.29】河川管理者と自治 体等で重要水防菌所等の共 同点検を実施。	・引き続き実施	【R1.8】河川管理者と自治体 等で重要水防箇所等の共同 点検を実施。		・【H30.5.24】水害リスクの高 い箇所について、河川事務所 と共同点検を実施。 ・【R1.5.23】水害リスクの高い 箇所について、河川事務所と 共同点検を実施。	・引き続 き毎年 実施	-【R1.7.4】河川管理者と自治・ 体で重要水防箇所等の共同 点検を実施した。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	引き続・消じ 5毎年 携し 実施 検を	防団や自主防災組織と連・引 人・重要水防箇所の共同点 き実 会計画する。 検討	を続・【R1.5.29】河川施 団が参加して重 等の共同点検を	管理者と水防・引き続 要水防箇所 実施。		
	②小中学校等にお		・市町村の要請により、出前講座等を 積極的に行っていく。 信濃川・店域権便プーカイブの充実 化、広報を積極的に行っていく。	議・新潟県防災教育プログラム【漢水災 引き様 害・審論とを収済み。 ・市町村の要請により、出前講座等を 積極的に行っていく。	ė	・新潟県防災教育フ に基づき全小中学 年で、防災教育。 ・各校の特徴、地域 して新潟県防災教育 ムの自校化を進め ・防災に関する体験 う施設や出前調建設 デ音を促進する。 ・学校と家庭や地教1 た実践的な防災教育	水災害) 実施 特性にグラ 5。 学習を行っ した防災 が連携し	・ 筋災教育コンテンツ(教材を小中学校に設置し、筋災 育で活用するとともに、必要 に応じて護師を派遣 ・小中学生の子をもつ世帯 対象とした親子防災キャン・ の実施	実施	・全小中学校・全学年で防災 教育授業を実施	H25年 度から 実施	・小中学校での水害教育並び に資料提供を実施している。	引き続き実施	・小中学校を対象に過去の水 書の状況、対策等についての 防災教育を実施している。		・各校の特徴、地域特性に応 じて新潟県防災教育プログラ 人の自秘化を進める。 ・長着館学習塾受講生を対象 に防災キャンプの実施	検討	・小中学校での水害教育を実 う 施している。						
	ける水災害教育を 実施[H30一部追 加]	引き 出前講座(水 熱き 害教育)の実 実施 施	・出前議座に関するチランを作成し数 育機関に配本 「機関に下海域情報アーカイブのバナーを移構機関PPへ機関するよう ナーを各関係機関PPへ機関するよう 呼びかけ、間い合わせ窓口で意見等 随時受付中。 小中学生を対象に関連分水資料館、 品屋野製造水機構等の見を全通して、分水や治水施物の役割や水害の 歴史についての講習会を実施。	様 R01)  ・新潟市立峡方小・中学校に対し、国 ・海潟市立峡方小・中学校に対し、国 と選携して水防災教育の支援を実施。 (河川管理集 新潟) ・小・中学生対象の管内施設見学にお いて、参加者に果で作取したプリアフィ イル「洪水から命をでる」を配布して、 防災情報を提供、(新潟) ・本成寺中学校、大崎学園、田上小学 校江で出前議を実施。(長岡) ・海店川(路小)について出前議 歴史集進。(長岡) ・を代刊河川茂修事業を選材に小学 校で出前講座を実施。(新津)		・新潟県防災教育・ に基づき金小中学 年で、防災教育(決 年で、防災教育(決 ・各款の特徴、地域 して新潟県防災衛 ムの自校化を進か ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	交の各学      水災害      特性にグラ      にいるを座連      は等      には、      は、      には、    には、     に	・和年度は市内小中学駅 おいて、防災省舎コンデン 「防災五年島 「春を活用した 防災教育の支援及び今後・ 事業を検討中。 ・【RI.8.17】観子向け防災イ ノ実施済み。	y き実施 こ の	- 全小中学校- 全学年で防災 教育授業を実施。	· 引き続き毎年実施	・要望を受け次第、資料の提供を行っている。	・引き続 き実施 	・中学校への防災教育、小学 校への防災スクールを実施。	毎年実施	・防災教育プログラムは引き 接き実施: (14103)防災キャンブ実施・ ・物質を開会と連携し、平成・ の1年度までに3小学校で防災 教育実施: ・研究を見会と連携しながら、 防災年キラバンルを称し、市内 の215小学校の防災教育 を実施予定、3月末時点、14 校で実施、協型コロナウイル ス感染症の影響により1校中止)	き実施	「R23與在] ・市内検育園(3團)、五泉小 ・市内検育園(3團)、五泉小 ・学校、五泉北中学校において 防災の出前講座を実施。	・ハ・ 示。 ・R0: て、1	ザードマップを校内に掲 01.9.19弥彦小学校におい 役場職員が生徒約500名 けして、水害等の教育を実	・施設見学等もでいる。	- 引き続き実施し き実施		

							※「課題の	)対応(A~Z)」は減災対策について I	この現状の話		詳細は「信濃		一参照)に対												<del></del>				45(1)
	減災のための取組項		年間)	北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市	1	三条市		加茂市		見附市		燕市	1	五泉市		弥彦村	$\overline{}$	田上町		農政局	
項事目項	カテゴリ	課題 の 対応 時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■ 3	平時から住民等への居	目知・教育・訓	練に関する取	祖 ・防災教育に関する支援を実施する学	引き続き	<ul><li>・河川管理者として可能な支援の給討</li></ul>	引き続き	・関係機関の薬語に広じて 指	適宜実施			・防災教育コンテンツ(教材)	引歩締				<u> </u>		Ì	・ 各校の特徴 地域特性に広	- 順次栓	・関係機関と協議を重ね給	- 順次絵	・指道計画の作成について調	H29年				
				・防災教育に関する支援を実施する学校の決定及び指導計画の作成支援に 着手	実施	月川日生日こので可能な又談の(大田)		導計画の気象関連部分の助 言を行う。				・防災教育コンテンツ(教材) を小中学校に設置し、防災教育で活用するとともに、必要	と き実施							じて新潟県防災教育プログラムの自校化を進める。	討	討。	討	・指導計画の作成について調 整中。	度~				А
				・国の支援により作成した指導計画を 協議会の関連市町村における学校に								に応じて講師を派遣								・長善館学習塾受講生を対象 に防災キャンプの実施	Ł				, !				
				共有																に例及れてラブの失肥					, !				
				・H30年度中に支援実施校(新潟市立	・引き続 き事施	【R01】 ・新潟市立味方小・中学校に対し、国	・引き続 き事施	引き続き、要請に応じて支援を	・引き続 き事施			·R1年度は市内小中学校に おいて、防災教育コンテンツ	・引き続 き実施				T		1		・順次検	・関係機関と引き続き協議。	・引き続	・教育委員会と協議し、引き 続き計画作成等について検	引き続き				
	②小中学校等にお ける水災害教育を	引きの	教育委員会と	味力小子校・味力中子校)に対し、小 防災教育支援を実施し、内容について とりまとめた指導計画書を作成済。		*初海市立味ガバ・中子校に対し、国と連携して水防災教育の支援を実施。		天肥。				「防災玉手箱」等を活用した 防災教育の支援及び今後の								続き実施。 ・【H30.9】防災キャンプ実施。 ・教育委員会と連携し、平成	řă.		さ快酌	就さ 計する。					
	実施【H30一部追加】	A 続き的	数育委員会と D連携・効果 内な対応の検	今後、教育委員会等を通じ、協議会の								事業を検討中。								30年度までに3小学校で防災教育事施。					, /				
	701	in a	1	関連市町村における学校に共有。																12777120					, /				
																				・教育委員会と連携しながら、 「防災キャラバン」と称し、市					, /				
																				内全15小学校での防災教育 を実施予定。3月末時点、14					, /				
																				校で実施。(新型コロナウイル ス感染症の影響により1校中	<b>-</b>				, /				
																				止)					لـــا				
				・市町村の要請により、出前講座等を 積極的に行っていく。		・市町の要請により、出前講座等を積 極的に行っていく。	引き続き 実施			・出前講座等を活用し、水防 災等に関する説明を実施す	新潟県 からの	・町内会等の依頼により職員 を派遣し、出前講座を実施	りき続 き実施	・目治会長や民生委員等に に、防災に関する説明会を	引け引き続 実 き実施	・出前講座等を活用し、水防 災等に関する説明を実施す	新潟県 からの	・住民に対する防災情報等! 関する啓発・協力	こりき続き実施	・住民に対する防災情報等に 関する啓発・協力の実施	H28年 度から	・ハサードマップ作成の際に 説明会を実施する。	H29年 度	・住民に対する防災情報等に 関する啓発・協力	H28年 度から	・住民に対する防災情報等に 関する啓発・協力	-128年 度から		
				・住民に対する防災情報等に関する啓	.					ి .	情報提 供後に	<ul><li>・年1回出水期前に町内会長等を対象とした防災対策説明</li></ul>	ŧ I	施		<b>వ</b> .	情報提 供後に	<ul><li>・消防団員に対する避難情報対応に関する啓発・協力</li></ul>	版	<ul><li>・洪水に関する防災教育プログラム制作の検討</li></ul>	検討		以降実 施	・消防団員に対する避難情報 対応に関する啓発・協力	検討	・消防団員に対する避難情報: 対応に関する啓発・協力	<b>魚討</b>		
				発・協力 ・洪水に関する防災教育プログラム制							検討	会を実施					検討	・洪水に関する防災教育プログラム制作	1					・洪水に関する防災教育プロ グラム制作	, 1	・洪水に関する防災教育プロ グラム制作			
				作 ・信濃川下流域情報アーカイブ																					, 1				
		92	党明会・見学	・自治会や中学校などで水防災等に	・引き続	[H29]	・引き続			・自主防災組織や消防団など	・引き続	<ul><li>・町内会等の依頼に応じて出</li></ul>	・引き続	<ul><li>自治会長や民生委員等向</li></ul>	11・引き続	・【R1.8.3】三条地域整備部と	R1年度	<ul><li>防災訓練説明会時や町内</li></ul>	·引き	. 出前講座を各所で実施。(3	三・引き続	・ハザードマップ説明会を開	・引き続	·【R01.10.14.20.27】自主防災	・引き続	<ul><li>・ハザードマップを活用した説</li></ul>	・引き続		
		숲	の実施	関する説明会を実施	き実施	<ul><li>・西蒲区の島工業団地組合に対し、水防災に関する出前講座を実施(新</li></ul>	き実施			住民向けに、出前講座や勉 強会を実施。(啓発DVDや豪	去宝饰	前講座を実施中。 ・【R1.5.22】防災対策説明会 実施済み。	去宝施	に、防災に関する説明会を 施。	実 き毎年 実施	共同開催イベントにてハザー ドマップの説明	実施	会等から依頼があった際に 民・消防団に対する出前講照	住 き実施	成30年度35回)	き実施	催(土日含む)。 ・町内会等への出前講座も名	き実施	組織訓練と併せて出前講座 を実施。	き実施	明会を実施。 ・小学校の保護者を対象とし	き実施		
	③出前講座等を活	714		(出前講座等実施状況(R1.10.31現 在):H30年度23回、R1年度9回)		湯)。				雨・台風動画の視聴、職員による講演など)		実施済み。				・【R1.10.10】赤十字奉仕団要 請による出前講座の実施。ハ		を実施。		・出前講座を各所で実施。 (令和元年度21回)		所で実施。			, ,	た学習会を実施			
	用し、水防災等に 関する説明会を開	引き A 続き 実施				・親松排水機場をはじめ、各排水機場 の見学会を通じて、住民等に対しての				5-018/AC7						ザードマップについて説明。				(日祖元十度21四)					, !				
	催	夫肥				施設の役割などについて理解を得ていい、水防意識の向上を図る。	<b>5</b>																		, 1				
						・大谷ダム見学会を小学校10校及び 高校1校に対して実施。(三条)																			, 1				
						同牧「牧に対して天祀。(二末)		・関係機関と連携し、効果的な	H28年																$\overline{}$				+
								対応を検討する。 ・住民に対する防災気象情報 の普及・啓発活動	度から 実施																				
		関連	関係機関との 車機・効果的					の普及・啓発活動																					
			対応の検討				·	・機会あるごとに水防災に関する防災気象情報を説明。	・引き続き実施		<b></b>						<b></b>						·						
								9 心即火米豚 旧報と成功。	こ 大肥																				
				・市町村が作成するまるごとまちごと ハザードマップへの情報提供	順次実	・ハザードマップの基礎資料となる浸	引き続き			・ハザードマップの見直しの	H29年 東口際	・ハザードマップの見直しの間	景H29年 東以際	・避難所の見直し等に伴う	変引き続	・ハザードマップの作成の際	H29年 東以際	・ハザードマップの見直しに	併 H29年	<ul><li>ハザードマップの見直しの間にかきます。</li></ul>	H29年 menor	・ハザードマップの見直しの間に始ませる。	₩ H29年	・まるごとまちごとハザード マップの整備を検討する。	H28年	・ハザードマップの見直しの際	H29年 鹿以際		
				ハザートマッノへの情報提供	池	水忠正区域図の作成と公衣	<b>夫胞</b>			除に快打する。	度以降 実施	-快計する。	実施	更を美施	さ美胞	に快討する。	実施	ぜく快耐を行う。	検討	-快討する。	実施	に快討する。	実施	イツノの登幅を快討する。	実施	-快耐りる。	支以阵 実施		
				・市町村が作成するまるプレキもプレ	. 리本结	・中ノロ川、小阿賀野川、能代川、加	. 21 ·k·4#			・洪水ハザードフップを今か	·H30年	<ul><li>・洪水ハザードマップの見直</li></ul>	I .H31年	・避難所の目前 (第17件)	亦,司朱续	_	. 21 未结	・相空墨士相増降雨での温	₩ .P2I:II	降・H29年度ハザードマップ完	. 리朱維	・新たた洪水 ハギードフップ	•H30 3	・(中流域)設置済み。	·H28年	・R元年度ハザードマップ更	・R元年		
	④まるごとまちごと ハザードマップを 整備	D.F 順次マ	#水ハザード マップの検討・	・中町村かけ成りるよることようこと ハザードマップ作成への情報提供を実 htt	き実施	・サノロ川、小阿貝野川、能で川、加 茂川、下条川、五十嵐川、刈谷田川、 猿橋川、茨曽根川、滝谷川、大正川、	き検討			新潟市総合ハザードマップを が場下総合ハザードマップを 作成し、全戸配布。	度実施	(R2年度完了見込み)後にお	食度から	更を実施。	き実施		き検討	想定区域図を考慮して検討	検討	成したため、それを参考に検	き検討	作成完了	実施	*(中派項/改旦済み。	度完了	・Rルギ度パリートマック更 新。	度完了		
	整備	1 7/10 2	<b>坚備支援</b>	re.		布施谷川、鹿熊川、塩谷川、稲葉川、				TF成し、主尸配布。	HO	in i	快副							ă di o					, !				
						才歩川、山田川、五社川、東大通川、 牧川の20河川について公表済み。																			, 1				
						(R02.3.31時点)																			, !				
						<ul><li>・土砂災害警戒警戒区域等を表示した 現地看板を整備する</li></ul>	順次実施			該当なし		該当なし		・県と連名で設置		土砂采配警戒区域注意喚起 の看板の設置	引き続き始け	該当なし		・土砂災害警戒区域等現地 看板の整備について検討	·今後検 討	・今後の対応について検討	今後検討			・必要性を含め検討する。			
	⑤土砂災害警戒 区域等現地看板	順次				WEEK!	115										C 100 II						",						
9	の整備【R2追加】	実施												・市独自者板について検討	中 模討中	R1に検討したものの設置見 送り。今後再検討。				<ul><li>・主砂災害警戒区域等現地 看板の整備について検討</li></ul>	· 今後模 討								
				「ルた巛音学社会」の面構築に扱う	⊔no4∓	・光水味の棒を巾集と攻撃の判断す	アルキュ	「少吐巛会学社会」の面様質	⊔no4∓	「水吹の金珠社会」の画様	\$C:0 III	「水味巛会端社会」の面様	U20Æ	.二冬本高声《字址广书》	ピアは独	・光水の貧磁知識の締め締起回	리本館	「少性の音楽社会」の画像	U20 €\	これは必要性社会の面接	⊔20Æ	「水吐災会学社会」の面様	⊔20Æ	「小叶の音楽社会」の画様	⊔20Æ	「ル比巛音樂社会」の面標	U20年		4
				・「水防災意識社会」の再構築に役立 つ広報や資料を作成・配布	度から	準等を一般住民に理解してもらえる家 空中はのエニシャ作成しました。	実施	に役立つ広報や資料を作成・	度から	第に役立つ広報や資料を作 成本	からの	等に役立つ広報や資料を作 成 の の で の で の で の で の で の で の で の で の で	度以降	ブックを活用し、住民の水質	書き実施	集の方法などを市広報誌に	き実施	等に役立つ広報や資料を作	実施	第に役立つ広報や資料を作	度から	等に役立つ広報や資料を作	度から	第に役立つ広報や資料を作 成 記せ	度から	等に役立つ広報や資料を作 成 記せ	度から		
					夫胞	ジで公表		配付	夫胞	八十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	併後に	DX * BC 作	快耐	や超難に対する思議を高さ ていく	9	行来を組んで配布 9 る。		以·BC1寸		RX・BC1寸	快訂	成*配竹	快訂	X * EC1寸	快耐	AX * BC17	失罰		
						・チラシを市町村や県地域整備部へ百布					検討														, !				
						・洪水時の避難に役立つ情報をまとめ 地域版「洪水対応ポケットブック(想定																			, !				
	6効果的な「水防 災意識社会」の再	r;	水防災意識			最大規模浸水想定区域図別) 」及び決 水時の行動を促す「洪水時避難行動	ŧ																		, !				
	構築に役立つ広報	社	1会 の再構			カード」を作成(新津)																			, !				
	や資料(浸水実績 含む)を作成・配布	<b>美肥</b> 報	養に役立つ広 最や資料を作 成・配布	・浸水想定区域図や信濃川下流域情 報共有ブラットホーム等の情報を盛り	引き続	・クリアファイル「洪水から命を守る」の	・引き続	・水防災に関する防災気象情	・引き続	・河川管理者が作成した水防	・引き続	【H30.8】コミュニティセンター	・引き続	<ul><li>三条市豪雨災害対応ガイ</li></ul>	ド・引き続	・市広報誌「広報かもお知ら	ļ	総合防災訓練に合わせて広	·引き8	<ul><li>・下流河川事務所作成のパン</li></ul>	・引き続	・随時広報紙及び市主催のイ	・引き続	・【H29.4】ハザードマップの全	・引き続	・ホームページ、広報誌等を	·H29年		
	【H30一部追加】			込んだ水防災バンフレットを作成。	き実施	配布。 ・水防月間ポスターの掲示。	き実施	等で使用。	き実施	役所の窓口に設置、自治会	き実施	に大判の掲示用の洪水ハ ザードマップを作成し、配布	き実施	ブックを活用し、住民の水を や避難に対する意識を高め	計 き実施	せ版」にて掲載し、配布。	実施。	載。市主催のイベントで啓発	き実施		き検討	ベント等において防災啓発を 実施。	き実施	・R01.10/14.20.27に実施した	き実施	通じて広報を実施。	度から 検討		
				(H29実施) ・水防災意識を啓発する情報を配信中				・大雨に対する備えを記したパンフレットを発行し、必要に応じて配布実施		へ配布している。 ・水防月間ポスターを各区窓		実施。		ていく。			引き続き毎年	チラシを配布。		<ul><li>・ハザードマップの全戸配布 (H30.4)</li></ul>				自主防災組織防災訓練に て、ハザードマップを再配布。	, !				
								じて配布実施 ・洪水警報の危険度分布広報		口等において掲示。							実施。			<ul><li>市広報誌による啓発記事掲載</li></ul>				・広報やひこ(12月号)にて、 台風19号の影響による大河	, !				
								グッズ「危険度分布ルービック キューブ」を県内全市町村に																津分水路特集を掲載。	, !				
						4	71.565.5	配布。[R01.4-8月]					71 + 64	***	71.64						71 + 60	+		4 h 7 h /// a 4 11 4 /// day a		* * ** ** * * * * * * * * * * * * * *			
						・自主防災組織の育成・活性化のため、住民への意識啓発や、市町村・自	実施					・防災訓練を実施した自主防 災会に対し、活動報償金を支	りき続き実施	<ul><li>・自王防災組織の結成率の 向上を図る。</li></ul>	り与き続き実施	・自主防災組織を結成してお らず(R1年度時点)、今後結 成促進に向け啓発等実施	R2年度 から			・日王防災のあり万、役割の (再)啓発を実施	与毎年	・目王防災のあり万、役割の (再)啓発を実施	H28年 度から	・自主防災のあり方、役割の (再)啓発を実施	H28年 度から 順次実	・日王防災のあり方、役割の (再)啓発を実施	H28年 度から 順次実		
						主防災組織に向けた先進事例の提供 等の取組を行う。						給 ・自主防災会が整備する防災				成促進に同け啓発等実施					実施		順次実 施		施		偵次実 施		
												備品に対し、補助金を支給	度から 実施												, !				
						・自主防災シンポジウムの開催(3回) ・市町村へのアドバイザー派遣事業の	・引き続	***************************************		***************************************	+			<ul><li>・自主防災組織の結成率の</li></ul>		・【H31.3】各分団に消防団参	・引き続			・各所で出前講座を実施。	<ul><li>引き続</li></ul>	・自主防災組織設立後、資器	・引き続	・自主防災組織が訓練等を行 なう際に活動の支援を実施。	·H28年	·【R1.6.12】「田上町自主防災	・引き続	*************************	
						実施(1市1町1村)	き実施					に活動報償金を支給 ・自主防災会が整備した防災	き実施	向上を図る。  ・自治会長及び民生委員児	き実施	加への呼びかけを実施。 ・各自治会に対して消防団募	き、毎年 実施			・自主防災組織で活躍できる女性を育成するため「燕市女性防災リーダー養成講座」を実施。	き毎年 実施	金を支給。	き実施	<ul><li>・目主防災組織が整備する防</li></ul>	度実施済、引き	組織連絡協議会」を通じて実 施。	き実施		
		É	自主防災のあ			・市町村職員向けのテーマ型意見交換会を開催(2回)						備品に補助金を支給 ・防災の専門知識を有するア		童委員を対象に開催する地域防災研修会で自主防災	粗	集ポスターの掲示を依頼。 ・春の火災運動の際、火災予						<ul><li>各所で出前講座を実施。</li><li>市より啓発DVDや資料等を</li></ul>		災備品に補助1/2を支給。	続き実 施				
		対	)方役割の(再) 8発									ドバイザーを自主防災会等に 派遣し、自主防災活動を支援	=   =	織の役割を説明		防運動チラシを配布するとき に募集案内も併せて実施。				災リーダーを対象に「防災リー ダー研修会」を実施。		希望する団体へ貸出や配布 を行った。			, 1				
													1			・自主防災組織の結成について協議中	١			・H30に引き続き、女性防災リー ダー養成講座を8月から実施。10	,				, 1				
																C 100 USK 1				月末時点、第1回~第3回を実施					, 1				
																				・H30に引き続き、今後防災リー ダー研修会を実施予定。					, 1				
																				ダー研修会を実施予定。 ・【R1.10.30~11.1】自主防災組制 未結成の自治会を対象に「自主	ž.				, 1				
																				防災組織結成に向けた説明会」 を実施。					, 1				
										・住民の防災意識を高めるた	: 引き続			・住民の防災意識を高める	た引き続	・県や日本消防協会等の行う	引き続	・新たなハザードマップ等に	基 H28年	・実際の災害時に機能するよ	H29年	・実際の災害時に機能するよ	H28年	・実際の災害時に機能するよ	H28年	・実際の災害時に機能するよ	H28年		
	⑦住民の防災意									めの研修を実施する。	き実施			めの研修を実施する。 ・新たなハザードマップ等に	基	研修・息見父授芸への参加。	さ夫胞	・災害時の対応等についての	度から 順次実	つ夫氏的な研修・訓練の夫施・新たなハザードマップ等に表	検討	・新たなハザードマップ等に ・新たなハザードマップ等に	度から	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施 ・新たなハザードマップ等に基づく避難訓練の実施	度から順次実	う美銭的な研修・訓練の美施 ・新たなハザードマップ等に基	夏から 順次実		
	識を高め、地域の 防災力の向上を図	K 順次												つく避難訓練の実施	学後模 討			事例紹介・研修の実施	施予定	つく避難訓練の実施		つく避難訓練の実施	池	つく避難訓練の実施	肔	つく避難訓練の実施	池		
	るための自主防災 組織の充実	<b>天</b> 胞					-			・自主防災組織や消防団など	・引き続			・住民の防災意識を高める	た・引き締	<ul><li>・今年度は参加者無し</li></ul>	・引き締	ハザードマップ改訂作業中。	R2以贈	・自主防災組織で活躍できる	·H30年	<ul><li>新たなハザードマップの件</li></ul>	・引き締	・消防等の関係機関と協議	・引き締	・自主防災組織リーダー研修	· 引き続		
	1210-1707									住民向けに、出前講座や勉 強会を実施。(啓発DVDや豪	き実施			めの研修を実施する。 ・新たなハザードマップ等に	き実施		き実施	今後検討。	検討	女性を育成するため「燕市女 性防災リーダー養成講座」を	度から	民説明会を実施。	き検討	し、より実践的な防災訓練等 の実施を検討する。	き検討	の実施。	き実施		
		実	実践的な研							雨・台風動画の視聴、職員による講演など)				づく避難訓練の実施	度から					実施。 ・【H31.2.9】H24~H29育成の	~ ""			VANCE IXII 7 US	, 1				
		信施	§・訓練の実							よる時項(40)					夫肥					防災リーダーとH30育成の女性防災リーダーを対象に「防					, 1				
		1																		性防災リーダーを対象に「防災リーダー研修会」を実施。 ・【8月~12月】女性防災リー					, 1				
																				ダー養成講座を6テーマ、各2					, 1				
																				回ずつ実施。 ・【R2.2.22】H24~H29育成の					, 1				
																	1			防災リーダーとH30・R1育成 の女性防災リーダーを対象に 「防災リーダー研修会」を実	=				, !				
																				「防災リーダー研修会」を実施。					, 1				
										・自主防災組織の結成率の	引き続	「中越市民防災安全大学」	H28年							・自主防災組織率の向上を図		・自主防災組織率が低いた	H28年						
										向上を図る。	き実施	開講し、地域の防災リーダー の育成を図る。	· 度から 実施							<b>8</b> .		め、引続き設立の支援を行 う。	度から順次実						
		É	自主防災組織																				施						
		RF	D設立支援・ 方災士の養成							・連合自主防構成自治会が 単独自主防を結成する際に、	・H30年 度で終	・R1年度の安全大学で42名 が卒業	・引き続 去字性				1			・【R1.10.30~11.1】自主防災 組織未結成の自治会を対象	1	・引き続き支援を行う。 ・新潟県と共催で、町内会関	・引き続き実施						
										単独自主防を相似する际に、 西区独自で助成するなど設立支援を実施。	7	~ T本。	C 大肥							組織木組成の自治芸を対象 に「自主防災組織結成に向け た説明会」を実施。	+	・新海県と共催で、町内芸園 係者等を対象とした自主防災 シンポジウムを開催した。	C 大肥						
										ユメ豚と犬肥。										/〜 肌切太」を天施。	1	ノンハン・ノムを用惟した。	1						

(株式1一取組一覧) 取組状況確認様式	T.	※「課題	の対応(A~Z)」は減災対策につい		(詳細は「信濃川下流域の減災に係る取組方針	」参照)に対応したものかを指す	٠.			5814						75-4-11			資料5①
減災のための取組項目(概ね5年間) 環	北陸地整	新潟県	新潟地方気象台	T	長岡市		三条市	加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村	田上町		農政局
□ カテゴリ の 日標 内容 日標 内容 日本		期 実施内容 時期	実施内容	時期 実施内容	時期 実施内容	時期 実施戸	内容 時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容 時	期 実施	内容時期	期 実施内容	時期	実施内容 時期
(1) (8共物の仕組みの強化(RZ追加) K 東東	・協議会において、住民避難、 栗配慮 随着利用施設の選出における、地域と 時間 の連携事物を引き続き収集、(情報の 共有反び公表。 中国の いまれている はいまれている はいまれて まれて はいまれて	: ・自主防災組織の組織化及び活動活性化を図る市町村等の取組への補助 を実施。		新規結成や防災訓練を実施した服の助成金の整備。当 助成金の拡充。	引き糖   自主防災会などへ自主防災 該 き実施   活動アドバイザー派遣、安 (紙) 対   ・ 自主防災会の研修会実施 は、役 より実施   ・ 自主防災会の研修会実施 を対する。	引き続   地域防災研修   地域防災研修   地域防災研修		今後自王防災組織結成促進	R2より 検討	・災害時に町内で避難を呼び かけら「避難インフルエン サー」の取り組みを実施		- 共助の重要性の周知を図る。 - 出前講座等により、共物の 重要性を住民へ周知し、理解	· 引き続	今後の対応について検討 対	検		・自主防災組織と連携しなから検討する。	K.	
9住民一人一人 の避緊計画・情報 D.E. 原太 マップの作成配置 F 実施 [R2追加]	・協議会のいて、市町村向けの実施要 2020 領等の情報を提供。 ・マイ・タイムライン検討ツール「逃げ」 ・マイ・タイムライン検討ツール「逃げ」 キット」の情報提供及び配布	3年 ・ハザードマップの基礎資料となる浸 引き続きで 水型定区域図の作成と公表・「小水が実施社会」の再構製に役立つ広報や資料を作成・配布・・NPO等と協力した土砂災害行動計画 順次実		顺次検討を行	田山田 上 5000年上前で1 上市の100	Plots , 白土羽豚牡亚	έθητα plate	土は何中)勝々工ご取出さ		<u></u>		を深めていただく。		今後の対応について検討・今後	<b>**</b>		・自主防災組織と連携しなか		
の		東定支援の実施	-	ROOMETT う 検討を行う	国中県 土砂災害を想定した防災制 住機関 からの 情報環 順次検 討			・防災計画見直しの過程で検		関する注意点等を掲載し、周知する	実施	- 関係機関と協議を重ね検討	討	PROMINE JUICEAN PR			ら検討する。		
①    ①    ①    ①	・市町村等の取組を支援として、市町 随時 村の要請に応じ、専門家を派遣。 ・支援結果について協議会の場で共 有。 ・・市町村の講習会において職員を派 遠し、想定最大の洪水浸水想定区域 図の説明	組を支援するため、防災リーダー向け の研修会等の開催や市町村事業への 補助を実施。																	
(3本川と支川の合 流部等の対策 (リスク情報の共 有) [R2追加]	・堤防決壊が発生した場合に湛水深 が深く、特に多数の人由被害等が生じ る恐れのある区間についてリスク情報 等を共有。 ・想定最大の洪水浸水想定区域を囲 知すること ・合流点の状況をCCTVカメラで情報を 提供	河川水位情報と監視カメラ画像情報を 引き続 統合した防災情報システムの活用し、 支川部の監視を強化する。	de la companya de la																
2. ソフト対策の主な取組 ②氾濫被害の軽減や避難 ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関す	る取組						<u> </u>								<b>'</b>	<u>'</u>			
	・水防連絡会にて連絡体制の確認を 行う。 ・水防団等への連絡体制の再確認(水 防連絡会会務)	続・水防団等への連絡体制の再確認(水 引き続き 年 い連絡会会務) 施		・水防連絡会にて連絡体制 確認を行う。	の 引き続き毎年 実施・水防連絡会による連絡体制 変施	引き続 ・水防連絡会に   き毎年   確認を行う。   実施	て連絡体制の 引き続き毎年 実施	<ul><li>・水防団等への連絡体制の 再確認(水防連絡会会務)</li></ul>	引き続 き毎年 実施	・水防団等への連絡体制の 再確認(水防連絡会会務)	引き続 き毎年 実施	- 水防団等への連絡体制の 再確認(水防連絡会会務)	引き続 ・ き毎年 部 実施	水防連絡会で連絡体制を確 引き を与る。 実施	続・水防団等への 年 再確認(水防道	D連絡体制の 引き組 組絡会会務) き毎年 実施	<ul><li>・水防団等への連絡体制の 再確認(水防連絡会会務)</li></ul>	引き続 き毎年 実施	
	、- (H31.4.24)出水期前に行う水防連絡 - 引 会にて連絡体制の再確認を行った。 実施	き続・水防連絡会にて確認(各地域)。 ・ 対谷田川水防連絡会・中之島地域 ・ 水防連絡調整会議に参加(長岡)。	E .	・水防連絡会にて確認。	・引き続 き毎年 実施	・引き続・水防連絡会にできまります。 き毎年 実施	て連絡体制の 引き続き毎年 実施	•実施未定。	・引き続 き実施	・継続・実施中。	・引き続 き毎年 実施	・【H30.4.19】水防連絡会にて確認。 ・【R1.4.17】水防連絡会にて確認。	・引き続・き実施	実施中 ・引き き毎 実施	年 体制を確認。	いて連絡体制を 川を踏まえて、水 訓練等の機会を	続・【H31.4.24】水防連絡会にで 確認。	て ・引き続 き毎年 実施	
①水防団等への 連絡体制の確認と 首長も参加した実 践的な情報伝達訓 練の実施	・県・市・町・村と共同で情報伝達訓練 を実施する。 ・関係機関の情報伝達訓練及び各市 における避難実動訓練の実施	続・関係機関の情報伝達訓練及び各市 毎年年 における避難実動訓練の実施 施	・情報伝達訓練への支援	引き続 ・河川管理者が行う情報伝 き毎年 実施	連 引き続・無線定時交信の実施 き毎年・河川管理者が実施する情報 実施 伝達訓練への参加	引き続・関係機関の情 最き毎年 実施 応総合防災訓練	報伝達訓練 引き続ける水害対 き実施の実施	・関係機関の情報伝達訓練 の実施	引き続 き毎年 実施	・関係機関の情報伝達訓練 及び各市における避難実動 訓練の実施	引き続 き毎年 実施	・関係機関の情報伝達訓練 及び各市における避難実動 訓練の実施	引き続・記等毎年 ま	河川管理者が行う情報伝達 引き 対象に参加する。 水防訓練、防災訓練を通じ 実施 た、情報伝達訓練を検討す	続 ・関係機関の情年 及び各市におり 訓練の実施	青報伝達訓練 引き終 する避難実動 き毎 <sup>年</sup> 実施	売・関係機関の情報伝達訓練 取び各市における避難実動 訓練の実施	引き続き毎年実施	
情報伝達別納 の実施・参加 支援	- 【H314.26】毎年出水期前に沿川自 - 治体も参加した情報伝達訓練を実施。き毎 - 【R11.224】防災情報の伝達の効率 化、安定化のためSNSによる情報伝達 の検討および模擬訓練を実施	き鉄・[H31.4.26]洪水対応漢智を実施。 ・引き続き毎年 実施	: (H31.4.26) ・洪水対応演習を実施。	- 引き続 き毎年 実施	・引き続・週一回、無線定時交信を実 き毎年 施。 実施 ・[H3] 4.26]河川管理者が実 施する情報伝達訓練へ参 加。	・引き続・【R1.6】関係機能 き毎年 訓練及び三条市 害対応総合防災 施。	関の情報伝達・引き における水 き毎年 実施 実施	表 -【H31.4.26】洪水対応演習と 併せて実施。	: ・引き続 き毎年 実施	・【R1.6】総合防災訓練にて関 係機関の訓練を実施。連絡 体制を確認。	・引き続 き毎年 実施	· [H30.4]情報伝達訓練実施。 · [R1.4.26]情報伝達訓練実施。	・引き続・ き毎年 実施	【H31.4.26】関係団体との情 ・引 現伝連訓練に参加。 実施	き続・【R01.4.26】洪 年 報伝達訓練を覧	水対応演習情・引き 実施。 き実施	続・【R1.5.17】出水期前に職員 危 対応の確認を実施。	・引き続 き毎年 実施	
		続 ·水防団が参加した出水期前合同巡 引き続き 年 視の実施(水防連絡会会務) 施		<ul> <li>河川管理者と水防関係機 で重要水防箇所等の合同业 視を実施する。</li> </ul>	関 引き続・消防団が参加した出水期前 医 き毎年 実施 会会務)	「引き続・市消防本部等) き毎年 実施 水期前合同巡視 防連絡会会務)	が参加した出 引き続 の実施(水 き実施	<ul> <li>消防本部等が参加した出水 期前合同巡視の実施(水防 連絡会会務)</li> </ul>	k 引き続き毎年実施	<ul><li>・水防団が参加した出水期前 合同巡視の実施(水防連絡 会会務)</li></ul>	引き続 き毎年 実施	・水防団が参加した出水期前 合同巡視の実施(水防連絡 会会務)	引き続・ き毎年 て 実施 社	河川管理者と水防関係機関 引き 重要水防箇所等の合同巡 き毎 を実施する。 実施	続 ・水防団が参加 年 合同巡視の実 会会務)	ロした出水期前・引き 施(水防連絡 き実) 検討	続・水防団が参加した出水期 を 合同巡視の実施(水防連絡 会会務)	前 引き続 ・ き毎年 実施	
②自治体関係機 酸や水防団が参加した法外に対す。 がリステクの高い値 所の合同巡視の 実施	実施	会議 (R013-23) (産漁川下流で県及び消防・引き続年 権限及び関係自治金等の参加で重要 青海年 (R017-43) 集管理河川において、県 五泉市、消防機関の参加で出水期前 と同の17-53) 集管理河川において、県と 市秋東区で会同巡視を実施(新津)。 (R01.75) 集管理河川において、県と 市秋東区で会同巡視を実施(新津)。 (R01.65.63 集管理河川(右いて、出 水明的合同巡視を実施(長間)。 (R01.61.43 集管理河川(中ノ口川)において、台加巡視を実施(長間)。 (R01.71) 三条市と重要水防漁所の 合同巡視を実施(三条)。		- 河川管理者、新潟県と合作で重要水防部所、および各 で重要水防部所、および各 開管運の水防運転の機会 材等の確認を実施。	司 · 引き練 · 【R1523】消防団が参加した 機 き毎年 出水南前ら回北視を実施 「R15-0月間を表現して 上で出水南前合同近視を実施 施	- 引き続 - [R1.5]市消防 き毎年 以方出水期前合 実施 施(水防連絡会:	本部等が参加。引き 同温視の実 き毎年 全務)。	表·[RI:529]消防本部等と出光 期前に合同巡視を実施。	水・引き続 き毎年 実施	・【R16月】消防難員とともに 出水期前合同巡視の実施 (水防運輸会会議)。	・引き続 き毎年 実施	- [H30.5.24]合同巡視実施。 - [R1.5.23]合同巡視実施。	・引き続・ き毎年 (水 実施 )	【R174】河川管理者と自治 ・引き 音楽 で重要水防御所等の共同 き音 検を美能した。	连続 ・弥彦消防署と 年 巡視を予定して	連携し、合同・引き技能	議 - 【R1.5.29】水防团が参加し 出水期前合同温視の実施 (水防運船会表帯)。	た・引き続 き毎年 実施	
	水防連絡会において検討・調整を実 施 実施	続 取組方針も含めて検討・調整を実施 順次実 毎年 こ。			関係者の協力内容等について検討する。	H30年 度以降 合防災訓練の実 検討	5水害対応総・引き 施 き毎年 実施	ŧ		近隣市との水防担当者の情報交換会を毎年実施。 水防団の連携、協力について も必要に応じて検討。	き毎年	・関係機関と協議を重ね検討。	・順次検・計	関係機関と協議を重ね検・・順語	次検		・消防演習時に出水期を想した水防訓練を交えて実施	定毎年実施	
③水防団間での連 携、協力に関する 検討、調整(H30追 加) 0.0 原次 連携、協力に 実施 関する検討、 調整 (H30追 加) 原本検討、	・水防連絡会の枠組みで合同水防訓 酵毒を膨胀し、水防資機材の保有情 を実 報も共有する。	機施				- 今後校 ・三条市における 合防災訓練の実	5水害対応総・引き結 き毎年 実施	Ē.		近隔市の防災担当者と情報 交換を適宜行っている。水防団の連携・協力については必 要に応じて検討。	引き続き毎年	- 関係機関と協議を重ね検 計。	・順次検・ 討 し	出水期前に水防団を集めて ・引 総体制等の確認を行って を実	告続 施		・水防団との連絡体制等の 認を実施。	確	
	る。 ・水防工法購習会の支援等を行う。 ・関係機関が連携した水防実働訓練 の実施	施	練への支援	を実施する。 ・毎年行っている水防訓練の 内容を見直し、実働水防訓 を実施する。	き毎年 の実施 練	き毎年 実施 働訓練の実施	き実施	働訓練への参加	き毎年 実施	働訓練の実施	き毎年実施	働訓練への参加	き毎年を実施・	字施する。 水防訓練、防災訓練の内容 検討する。	年働訓練への参	加 き実施 検討	他 働訓練への参加	き毎年実施	
③毎年、関係機関 が連携した水防実 P.Q 動削練等を実施 動削練等を実施 施・参加・交技	- 【RR.6.2】水防連絡会主催による水防 - 3月 参与 ・ 1 日本 ・ 1 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	き様・【R01.6.2】信濃川下流水防訓練〜参・引き様年 加 新潟、新津、三条)。 ・【R01.5.3】信濃川中流水防訓練へ参加(三条、長岡)。 ・参加(三条、長岡)。 (別谷田川遊水地警戒情報発信施設 の動作確認実施)(長岡)。	・関係機関等の要請により、記 練への支援。	類・引き続・関係機関が連携した水防 き実施 株を実施する。	到 - 引き続 - 【R1.5.21】関係機関が連携( き毎年 た水防突動訓練へ参加。 実施	- 引き続 - 【R1.6】関係機 き毎年 水防実働訓練の 実施	関が連携した・引き報告毎年 ・実施。 ・引き報告の ・対策を ・対策を ・対策を ・対策を ・対策を ・対策を ・対策を ・対策を	表・【R1.6.2】信濃川下流河川事務所が行う水防実動訓練に参加。	・引き続 き毎年 実施	・【R1.6】防災訓練にて水防実 動訓練を実施。関係機関と連 携し住民への情報周知訓練 を行った。	・引き続 き毎年 実施	- 【H30.5.20】中流域において 訓練を実施。 - 【R1.5.19】中流域において訓練を実施。	・引き続・ き実施 d	【R1.6.2】出水期前に市主催 ・引き 会 来施	- 特後実施され 年 練への参加を・ ・	る水防実動訓 ・引き 予定している。 き検部	続・【R1.5.19】消防漢習時に主 のう積み訓練を実施 ・【R1.6.2】水防訓練への参 加。	・引き続 き毎年 実施	
								1											

mbeer on a se	<b>⊅</b> ₩ 475 □ /#	細してた日日)	北原土北東市		<b>新潟</b> 園	※「課題σ	の対応(A~Z)」は減災対策につい			題(詳細は「信)		方針」参照)に			-n ** -+		B ##+		*+		T A +		<b>*</b> ★ ++		m.h	Der		1450
頂東	の取組項目(根課題)	- t=	北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市	1	加茂市		見附市	1	燕市		五泉市		弥彦村		田上		農政局	
項 カテゴ	対応問	時期 内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■水防活動の数	率化及び水防	体制の強化に関する	取組						・水防活動の担い手となる 防団員の募集を促進する	5水 引き続 き毎年 実施	・水防活動の担い手となる 防団員の募集を促進する	消 引き続 き毎年 実施	・防災活動協力事業所の募 集を促進する。	引き続き実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続 き毎年 実施	・水防活動の担い手となる 防団員の募集を促進する。	引き続 き毎年 実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	実施	・広報誌やホームページで水 防協力団体を募るページをイ 成し、募集を実施する。 ・市内参加企業による団員の 優遇措置。	施 引き続	水防活動の担い手となる 防団員の募集を促進する	5消 引き続 き毎年 実施	・水防活動の担い手。 防団員の募集を促進	なる消 引き続する。 き毎年 実施		
⑤水防活動	O#II)								- 久様ノベンル学生と小ス	#소 . 리뉴설	1. 少性活動の担い手 レたる	:8 .Pis-4	1.昨巛子動物力車業所の首	. 河本館	。『D2 9』を公田に当昨田会加	.uon&	广枢.UD 钟二海胜用太海	· . Pl & 44	1. 7) 未经未常性		広報・HP、地元消防団を通じ	き実施	D011+供当时用奶立	. PI 本结	・自治会と協力し、新	週 3 冊 . 引走總		
手になる事業を促進	が協力 ・指定 の。Q	引き 水防団員の募 続き 集促進							・日本はイベンド等のかがら をとらえ、消防団員の入居 進活動を実施している。	成本・51で初 日促 き実施	・水防活動の担い手となる 防団員の募集を促進	き毎年実施	は「Mの人の知識が一手未可し券集を促進する。	き実施	E-【R22】各分団に消防団参加 への呼びかけを実施。 ・各自治会に対して消防団募 集ポスターの掲示を依頼。 ・春の火災運動の際、火災予 防運動チラシを配布するとき に募集案内も併せて実施。	一腕、引き 続き毎	広報でPP、地元用前回を通 募集中。	き毎年実施	いって称で失感。	き実施	広報では、地元相が回を通じ 募集中。	き毎年実施	R01.1女任用奶包数工。	き実施	員の勧誘の実施。	現人団 ・15で成 き毎年 実施		
			・水防技術講習会に参加する。	引き続き実施	・水防技術講習会への参加	引き続き実施			・水防技術講習会に参加 る。	す 引き続き実施		度から の参加	・水防技術講習会に参加	引き続き実施		引き続き実施		引き続き実施	・水防技術講習会に参加する。	引き続き実施	<ul><li>・水防技術講習会に参加する。</li></ul>	引き続き実施		す 引き続き実施		参加す 引き続 き実施		
⑥国・県・自 職員等を対 水防技術詞	治体 象に、P	引き 検き 実施 水防技術講習 会への参加	・【Ri】整備局主催による水防技術講習会に参加。	・引き続 き毎年 実施	<ul><li>・整備局主催水防技術講習会への参加。</li><li>・職場研修において、水防技術実施が</li></ul>	き実施			水防技術講習会に参加	。 ・引き続き実施	防技術講習会に参加。 ・【R1.6.4】県地域振興局主	き実施	・水防技術講習会に参加。	・引き続 き毎年 実施	・今年度は参加者なし。	・引き続 き実施	県の水防技術講習会に参加	」・引き続 き実施	・R元年度は参加者なし。	・引き続 き検討	・令和元年度は参加者なし。	・引き続 き実施	参加者なし。	・引き続 き実施	・R1年度は、参加者が	:し。 ・引き続 き実施		
実施		~#5			習を開催(長岡)。 ・【R01.6.10】三条建設業協会・県央工 業高校・地域整備部合同水防技術講 習会を実施。(三条)	-					の水防工法演習に参加。																	
⑦大規模 \$	<b>*</b>		・河川防災ステーションの整備を行う 【新潟市天野地区】	。 度から 検討 引き続	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度 以降検 討			・水防センターの整備を行 【新潟市天野地区】	rう。H30年 度以降 実施																		
の復旧活動点等配置計検討を実施	の拠 R st	H28 年度 から 検討 の検討	・河川防災ステーションの整備【新潟 市天野地区】(H26~)	き実施 ・引き続 き実施	•検討中。	・引き続 き検討			江南区天野地区河川防災スション内における防災活動等 投整備に関して、信濃川下設 川事務所と施工内容や時期 明教内	施 き実施 河																		
■流域対策に ①平成16年	7月、	平成16年7月、 同23年7月を	・新たな治水対策の検討を実施	引き続き実施					METO					<u>                                     </u>														
う、新たな治	われて 皮害を D.E かよ 水対	同さられています。 日本記さいます。 日本記述を記述しません。 日本記述を記述しません。 日本記述を記述しません。 日本記述を記述しません。 日本記述を記述しません。 日本記述を記述しません。 日本記述を記述しません。 日本記述は、日述は、日本記述は、日本記述は、日本記述は、日本記述は、日本記述は、日本記述は、日本記述は、日本記述は、日本記述は、日本記述	・新たな治水対策の検討を実施	・引き続 き実施																								
策の検討を	実施	水対策の検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策 の検討	H28年 度から 検討	<ul><li>・外水氾濫の被害軽減に向けた対策 の検討</li></ul>	H28年 度から 検討	<ul><li>・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討</li></ul>	度から	・想定を超えた外水氾濫! する被害の軽減について 後検討が必要	c対 H28年 今 度から 検討	・外水氾濫の被害軽減に た対策の検討	向け H29年 度から 検討	・雨水貯留施設等の整備を 施	実 引き続き実施	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	† H28年 度から 検討	<ul><li>・外水氾濫の被害軽減に向 た対策の検討</li></ul>	† H28年 度から 検討	た対策の検討	† H28年 度から 検討	<ul><li>・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討</li></ul>	† H28年 度から † 検討	・外水氾濫の被害軽減に た対策の検討	向け H28年 度から 検討	・外水氾濫の被害軽 た対策の検討	或に向け H28年 度から 検討		
②流域にお 濫被害軽減 た対策の検	ナる氾 に向け 討を実 D.E #	H28 年度 外水氾濫の被 害軽減に向け た対策の検討	-外水氾濫の被害軽減に向けた対策 の検討を実施	・引き続 き実施	•検討中。	・引き続 き検討	「洪水警報の危険度分布(メッシュ情報)」を気象庁HP、防災情報提供システムにて提供中	炎 き実施	検討中	・引き続 き検討	・市が管理する河川・水路 整備を実施。	の ・引き き実施	・雨水貯留施設等の整備を 施。	実・引き続き実施	・引き続き検討。	・引き続 き検討	・避難方法、避難区域等について検討中。	・引き続 き実施	・より安全な避難のため、開設する避難所を検討。	・引き続 き検討	・新たなハザードマップに家居 倒壊等氾濫想定区域など、 期立退き避難区域を設定。	置・引き続 引き検討	・広報やひこ(12月号)で 可津分水路特集を掲載し 書対策の周知を実施。	、大・引き続 、水 き実施	・検討中。	・引き続 き検討		
			浸水被害軽減地区の指定に参考とな			U20年度					該当なし。								・関係機関と協議を重ね検	加加拉								
③浸水被害 地区の指定 の情報提供	のため	水被害軽減地区の指定のための特別提供	る情報の市長村への提供	施	なる情報の市長村への提供	以降検討・引き続					ØX∃'&U₀			-					・関係機関と協議を重ね検	計								
数市町村に想定される共有、連携追加】	影響か D.E 月	順次 実施 対に影響場 対に影響場合 の共有		施中		き検討													<b>計</b> 。	計								
					・「既存ダムの洪水調節機能強化に「けた基本方針」「基づき有効貯水容量を洪水洪水調節に最大限活用できるよう、事前放流の検討・実施。	施																						
④ダム等の 節機能の 保(維持管 追加	上·確 即【R2 W 月	順次 実施		:	・ダムの継続的な維持管理について( 検討	מ																						
■要配慮者利用	B施設や大規模:	工場等の自衛水防の	<ul><li>薬配慮者利用施設による避難確保</li></ul>	引き続き事体	・要配慮者利用施設による避難確保	引き続き			・要配慮者利用施設につ	ハ H28年 こ++ 度から	・要配慮者利用施設におり	ける引き続き	・要配慮者利用施設に対しる	必新潟県	・要配慮者施設における避難	H28年 摩から	・要配慮者施設における避費	≝ H28年	・要配慮者施設における避難 計画策定の推進を行う。	H28年 度から	・要配慮者施設における避難 料画等中の推進を行る	H28年 度から	要配慮者施設における	壁難 H28年	・要配慮者施設におり	ナる避難 H28年		
			計画等の作成を行おうとする際の技術的な助言を行う。						定の推進を行う。					供後から実施														
		避難計画策定の推進	· 要配慮者利用施設による避難確保 計画等の作成に向けた施設管理者を 対象とした説明会を実施 ・協議会等において要配慮者利用施 設による避難確保計画等の作成状況		<ul><li>・要配慮者利用施設向け啓発チラシィ 作成済み。</li><li>・要配慮者利用施設管理者へ説明会 を実施(新潟市内実施済み、他地域( H29.3実施)。</li></ul>	を ・H28実 施済、引 : き続き実 は 施			追加(H30年4月〜) ・要配慮者利用対象施設 避難確保計画策定の依頼	引き続 ち室施	<ul><li>・妻配應者利用施設について、避難計画の策定依頼 び施設情報(住所・電話番等)の更新。</li></ul>	ハ ・引き組及 き実施 持号	・要配應者利用施設に対しる要な情報提供を行い、避難に 画策定を促す。 また、適宜相談に応じる体制を整えることとしている。	ジ・実施中 計	・どのような形で推進を図る か検討中。	・引き続き検討	・対象施設の計画策定について依頼・確認を実施。	ハ・引き続 き実施	・要配慮者利用施設につい て、避難計画の策定依頼及 び緊急時の連絡体制を構築 中。	・引き続き実施	<ul><li>・要配應者利用施設に対し必要な情報提供を行い、避難計画策定を促す。</li></ul>	1	~10部)を実施。必要な† 提供の継続的実施。 · 要配慮者専用避難施設	報	・要配應者利用施設 要な情報提供を行い 画策定を促す。	こ対し必・引き続 ・避難計・き検討		
①要配慮者 施設及び退 計画の作成 た支援を実	難確保 K JI	順次 実施	を共有						実施(平成30年6月~) ・未策定施設への再依頼 (R2.1) R1.10.31現在 R2.3.313		R1.10.31現在 R2.3.31現	l在 -	R1.10.31現在 R2.3.31現在	E -	R1.10.31現在 R2.3.31現在	-	R1.10.31現在 R2.3.31現在		R1.10.31現在 R2.3.31現在	-	R1.10.31現在 R2.3.31現在		追加を計画している。 R1.10.31現在 R2.3.313	(在 —	R1.10.31現在 R2.3	31現在 -		
		避難確保計画作成状況							757/1295施 設 設 設		319/410施設 351/427放	色設 一	54/163施設 119/169施記 ・要配慮者利用施設に対し必要な情報提供を行い、避難訓練実	・実施中	- 施設/- 施設 - 施設/- 施設	-	40/53施設 40/53施設	-	28/68施設 28/68施設	-	22/46施設 22/46施設	-	1/4施設 1/4施設	改 -	3/6施設 3	/6施設 -		
		要配慮者利用 施設における 避難訓練の支 援											施を促す。 - 要配慮者利用施設に対し必要な情報提供を行い、避難訓練実施を促す。 また、適宜相談に応じる体制を整えることとしている。		P													
			や水害対策等を行う際の技術的な助 言を行う。	き実施	<ul> <li>大規模工場等への浸水リスクの説明 や水害対策等を行う際の技術的な助 言を行う。</li> </ul>	明 引き続き 実施			・大規模工場へ浸水リスク 説明や水害対策等の啓列 動を行う。	7の H28年 度から 実施																		
②大規模エ への浸水リ 説明と水害 の啓発活動	場等 スクの I 対策等 I	引き 続き 読明・水害対 策等の啓発活 動	・自治体、施設管理者等からの要請 基づき、技術的な助言等を実施。	き実施	・中ノロ川、小阿賀野川、能代川、加 茂川、下条川、五十嵐川、刈谷田川、 猿橋川、茨曽根川、滝谷川、大正川、 布施谷川、鹿熊川、塩谷川、福葉川、	・引き続 ・き検討			·検討中 ·H29 1件 ·H30 0件 ·H31 0件	・引き耕 き実施																		
			-UAVの配備	2020年	才歩川、山田川、五社川、東大通川、 牧川の20河川について公表済み。 (R02.3.31時点)	•			順次検討を行		該当なし						該当なし		<ul><li>該当なし</li></ul>		<ul><li>・今後の対応について検討</li></ul>	今後検			·該当なし			
3早期復 する事前 (16) (民間企業	)準備 BCP策 I J		・民間企業による水害対応版BCP策定を促進するため「水害対応版BCP 策定の手引き(仮)」の共有。	15c 5 C						な係機関関の提供 ・ は機の提供 を は は は は は は は は と は と は と は と は と は と												BY						
定支援)【日	追加】								検討を行う	り快打 順次検 討																		

(様式1-取組-	一覧)取	組状況確認	様式									段:令和元年10月31日時点の取締 農川下流域の減災に係る取組方針		、青字は令和元年11月1日以降の 対応したものかを指す。	取組内容【	令和2年3月31日時点])												資料	¥5①
減災のための				北陸地整		新潟県		新潟地方気象台	1	新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
項事 カテゴリ	課題の	目標 内!	容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容 時	寺期	実施内容 時	期	実施内容 時	朔	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
2. ソフト対策の主な取			済活動等	を回復させるための排水活動や協働	の取組														I .										
①大規模水害			23 III	排水機場、樋門、排水路等の情報を 高まえ排水ポンブ車の適切な配置計 前等を検討する。	H28年 度から 検討	Fの情報の確認及び情報共有 ①排水ポンプ車想定箇所リスト ②浸水常習箇所リスト ②排水ポンプ車想定箇所カルテ ④排水ポンプ車想定箇所図	引き続き 毎年実 施			排水施設等の情報を確認 も有し、排水ポンプの設置 所の選定する。	箇 度から	・排水施設等の情報を確認・ 共有し、排水ポンプの設置値 所のを選定する。	H29年 度から 検討	・関係機関と協力して検討を実施	今後検 討	・排水施設等の情報を確認・ 共有し、排水ポンプの設置値 所の選定する。	H29年 i 度から 検討	・排水施設等の情報を確認・ H29 共有し、排水ポンプの設置箇 所の選定する。 検診	9年 ・排水 から 共有し 対 所の選	施設等の情報を確認・ H29: 、排水ポンプの設置箇度か 検討	年 ・抽 いら 共 す 所	排水施設等の情報を確認・ H28: 有し、排水ポンプの設置箇度 方の選定する。 検討	年 ・ 掛 nら 討 寸	非水ポンプの設置箇所の検	年度か	・排水施設等の情報を確認・ 共有し、排水ポンプの設置 所の選定する。	<ul><li>度から</li><li>検討</li></ul>	排水負担のあり方も含めて、信濃川下流排水計画 (実)の策定に際し、関係が 大協力して検討を実施	度から
プスを使いる 定した信濃川川 排水計画(案) 検討を実施	下流 の T,U	#28 年度 排水計画 から 討 検討	画の検が	氾濫プロック毎の排水機場、樋門、 非水路等の情報を踏まえ排水ポンプ 車の適切な配置計画等の検討を実施	・引き続・ き実施	上記情報を確認し、国と共有。	・引き続 き毎年 実施			検討中。	・引き続き実施	・所管する樋門等の操作要係 や操作方法等についての現 状把握を実施。	● H29年 度以降 の実施 を検討	・関係機関と協力して検討を 実施。	·今後书 討	・引き続き検討。	・引き続 き検討	- 引き続き検討。	き続・調査 (美計	検討中。 ・引きき調 検討	き続・相 I査 対			下流域についての必要性の 無について調査検討予定。		_	・H29年 度から 検討	検討中。	・引き続 き検討
②排水ポンプョ	車の	引き 出水時道	がまる の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	毎年、出水期前に県・市・町・村と連 乱て連絡体制の整備を行い、情報 有を図る。 排水ポンプ車出動要請の連絡体制 砂整備 排水ポンプ車配備訓練の実施	引き続・ き毎年 実施	排水ポンプ車出動要請の連絡体制 の整備	引き続き 毎年実 施			排水ポンプ車出動要請の 各体制の確認を行う。	連 引き続き き毎年 実施	<ul> <li>排水ポンプ車出動要請の退 絡体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の多施</li> </ul>	型引き続き実施	・排水ポンプ車出動要請の 絡体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の3 施	重 引き続 き実施 実	<ul> <li>・排水ポンプ車出動要請の退絡体制の整備</li> <li>・・排水ポンプ車配備訓練の事施</li> </ul>	型 引き続き実施	-排水ポンプ車出動要請の連 引き 締体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の実 実施	き続 ・排水: 毎年 絡体制 施 ・排水: 施	ポンプ車出動要請の連 H29: の整備 度以 ポンプ車配備訓練の実 検討	年・注 以降 連 対 確	河川管理者と連携を図り、 総体制の整備を行い毎年 窓変する。	F続 · 持 至年 · 持 他 · 拍	非水ポンプ車出動要請の連 体制の整備 非水ポンプ車配備訓練の実	<b>き</b> 検討	<ul><li>・排水ポンプ車出動要請の退 絡体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の多施</li></ul>	き毎年		
出動要請の連体制等を整備	絡 U	緑き備	忍・整 説	情報連絡体制を整備するとともに、 水水ンプ車等の設営訓練を出水期 には月1回、非出水期には2ヶ月に1 1実施。	・引き続 ・ き毎年 実施	連絡体制を確認し、国と共有。	・引き続 き毎年 実施		· 相	洪水対応漢習にて排水ボ	ン ・引き続 D き実施	- 排水ポンプ車出勤要請の通 格体制の整備を実施。 - H28に排水ポンプ車配備訓 練を実施(H29、H30未実施)。 - 今後も継続的に実施する。	・引き続 き実施	・排水ポンプ車出動要請の過 終体制の整備。 ・【R1.6】排水ポンプ車配備割 練の実施。	重・引き続 き毎年 N 実施	・【H31.4.26】洪水対応演習と 併せて確認。	・引き続 き実施	・排水ポンプ車出動要請の連・引 絡体制の確認をH28に実施し た。	き続・排水: 毎年 絡体制 施	ポンプ車出動要請の連・引き の整備。 き実	き続・技・技能	排水ポンプ車出動要請の連・引き 合体制の整備。 き実	き続・排産施 絡	非水ポンプ車出動要請の連 体制の整備	・引き続 き検討	-検討中。	・引き続 き検討		
③関係機関が、機による。	連 新訓 w	排水実債 排水実債 原次 研水 化防	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実践的な操作訓練や排水計画に基	度から 実施		引き続き毎年実施			水防訓練と合同で実施す 5。 河川管理者が行う定期的 操作訓練への参加を検討す 5。	度から な実施	- 関係機関が連携した排水等 働訓練の実施	引き続き実施	・信濃川下流河川事務所や 水防活動協力事業所等と連携した排水実働訓練の実施	引き続き実施	・関係機関が連携した排水等 働訓練の実施	H29年 度から 検討	- 関係機関が連携した排水実 働訓練の実施 参	を続・関係・ 関係・ 関節・ 関節を 関節を 関節を 関係を 関係を 関係を 関係を を 関係を を のの のの のの のの のの のの のの ののの ののの ののの のの	機関が連携した排水実 円29年 度以 検討	は降 討・治		実 ・注		度から 検討	・水防訓練と合同で検討する。 ・河川管理者が行う定期的な 操作訓練への参加を検討する。	度からは検討		
様の実施	KU AH YY	実施 防訓練/加		排水ポンプ車の訓練を実施(9回実 前)。 市町村の水防訓練への排水ポンプ 區の参加。		貝喰川及び中之島川で排水ポンプ! 実働訓練を実施(三条、長岡)。	車・引き続 き毎年 実施		· [ 総 災 施	関係機関が連携した水防 線にて、河川管理者と合同 災害対策車両の訓練を実 値。	訓・引き続 で き毎年 実施	<ul> <li>・H28に関係機関が連携した 排水実働訓練を実施(H29、 H30未実施)。</li> <li>・今後も継続的に実施する。</li> </ul>	・引き続 き実施	<ul><li>・【R1.6】信濃川下流河川事 所や水防活動協力事業所等 と連携した排水実働訓練の 施。</li></ul>	務・引き続 を毎年 実 実施	ŧ —	・引き続 き検討	・【R1.6】関係機関と連携した・引 総合防災訓練を実施 き実	き続・調査 関施	検討中。 ・引き き調 検討	き続 -  査 	- ・引き実	き続・枝	<b>食討中。</b>	・H29年 度から 検討	_	・H29年 度から 検討		
					検討	中ノロ川における内水排水ポンプの 運転調整の見直しを検討	) H28年度 以降検 討		19.00 de	重転調整基準及び方法の4 す	奏 国・県な ど機関の提及 を検討 を検討			・運転調整基準及び方法の 検討	今後検討	・運転調整基準及び方法の 検討	H29年 度から 検討									- 運転調整基準及び方法の 検討	度から	・排水機場の運用方法(操 現則)の変更について、関 機関と協議を開始	作 ( 保 度から 開始
④内水排水ボ の運転調整の 討		H28 内水排7 年度 ブの運車 から 基準及び 検討	<b>人万法</b>	排水規制を実施した場合の河川水位 減効果と内水氾濫影響について整 8。 施設管理者との調整を実施中。	・引き続・ き検討	検討中。	・引き続 き検討		- 持	運転調整基準及び方法の 検討。	・な係が情供ま計			- 運転調整基準及び方法の 検討。	・今後も計	食・方法は確立済み。課題が出てき次第、改善する。	・引き続 き検討									_	・H29年 度から 検討	実施中。	・引き続 き実施
■救援·救助活動(	の効率化に	関する取組	-		H28年 度から 検討	広域支援拠点等の検討支援	H28年度 から検 討		l li	新たな浸水想定区域に対 た人員や物資の輸送・供約 計画の見直しを検討	応 新潟県 からの 情報提 供後に	給討	新潟県の動向を踏まれて検討	した拠点等配置の見直しを え 討	お 新潟県 からの 情報に	・広域支援拠点等の配置等を 検討	H29年 度 から検 対	・広域支援拠点等の配置等を 検討 から 計		支援拠点等の配置等を H29: 度 から 計	检		給	な域支援拠点等の配置等を 討	H29年 度 から検 対	・広域支援拠点等の配置等を 検討	を H29年 度から 検討		
①大規模災害 の教授・教助活 等支援のため 点等配置計画 検討を実施	時 舌動 の拠 E.T	H28 広域支持 年度から 検討	爰拠点 → 対・支 部 <i>の</i>	堤筋天端に対空標示(ヘリサイン)を 速置。(+128年) 防災拠点として天野防災ステーション 至備を実施中。	•H28年 • 度実施 済、引き 続き実 施	検討中。	・引き続 き検討		江元東則	工南区天野地区河川防災ス テーション内における防災活 物等施設整備に関して、信 川下流河川事務所と施工内 学や時期等を調整中。	検討 ス 引き続き事施	・新潟県の情報提供後に検討 予定。	* 新温度	・新たな浸水想定区域に対応した拠点等配置の見直しを	検討	=	・引き続 き検討	- · 引き枝	き続 — (美計	・H2: 度か 検討		63 検討中。 ・引き検	き続 - (함		・H29年 度から 検討	_	・H29年 度から 検討		